

立川市第4次図書館基本計画

令和7（2025）年度～令和11（2029）年度



令和7（2025）年
立川市教育委員会

はじめに

立川市は、令和2（2020）年7月に策定した「第3次図書館基本計画」について、令和6（2024）年度に計画期間を終了するにあたり、社会経済情勢の変化や時代のニーズに対応した図書館施策を展開することが求められていることを鑑み、図書館協議会からの意見等を反映したうえで、本市図書館運営の指針となる「立川市第4次図書館基本計画」を策定しました。

本計画は、立川市第5次長期総合計画の前期基本計画に基づく個別計画として、「くらしに役立つ身近な図書館～読書や学びの場を確保し課題解決を支援～」を目指し、今後5年間の本市図書館サービスの方向性を具体的に示したものです。

なお、昭和52（1977）年12月に策定した「図書館行政基本計画」に定められた、本市の図書館行政を行ううえで基本となる“図書館づくりの5本の柱”については、本計画においても引き続き堅持・踏襲し、その実現に向けた取組を積極的に展開してまいります。

立川市教育委員会



立川市図書館の図書館づくりの5本の柱

- ① 身近なところにある図書館
 - ② くらしに役立つ図書館
 - ③ 親しみやすく利用しやすい図書館
 - ④ 誰でも利用できる図書館
 - ⑤ 読書の自由を保障する図書館
- 

[目 次]

第1章 計画の策定にあたって	1
1 計画策定の背景、目的.....	1
2 計画の位置づけ.....	3
3 本計画と子ども読書活動推進計画.....	3
4 計画の期間.....	4
第2章 図書館を取り巻く状況	5
1 立川市図書館の現状.....	5
2 図書館利用者アンケート調査結果の概要.....	10
3 第3次図書館基本計画の取組状況と課題.....	14
第3章 図書館の目指す姿	16
1 第5次長期総合計画・前期基本計画.....	16
2 計画の体系.....	18
第4章 計画の取組項目	19
取組施策1 図書館サービスの充実.....	20
取組施策2 子どもの読書環境の充実.....	24
取組施策3 情報収集と課題解決支援の充実.....	25
取組施策4 多様な利用者の読書機会の確保.....	27
取組施策5 図書館施設・機能の充実.....	29
第5章 計画の推進にあたって	31
1 図書館運営の一層の推進.....	31
2 計画の進捗管理.....	31
資料編	32

第1章 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景、目的

図書館を取り巻く状況は、様々な社会情勢の変化とともに、個人のニーズが多様化し、幅広いサービスの提供、より高度な専門性が求められています。読書習慣に目を向けると、文化庁が令和5（2023）年度に実施した「国語に関する世論調査」では、本を読まない人の割合が大幅に増加しており、その主要な理由は、「情報機器（スマートフォン等）で時間が取られる」からというものでした。読書離れが叫ばれて久しいですが、スマートフォン等の情報機器の利用の進展による影響は、読書環境に大きなインパクトを与えている状況です。立川市図書館として、より多くの市民の皆様へ読書への関心を高めていただく取組を一層進めていく必要があります。一方、立川市図書館の利用者アンケートによると、1か月に1冊でも本を読んだ人は9割弱となっており、図書館サービスへの期待も高い状況です。計画の策定にあたり、これらの社会動向を踏まえて対応する必要があります。

立川市図書館では、昭和52（1977）年12月に、立川市図書館の運営指針となる「図書館行政基本計画」を策定し、その中で“図書館づくりの5本の柱”を定め、その実現に向けた取組を積極的に展開してきました。具体的には、市民の権利を尊重しながら、誰もが利用でき、親しみやすい図書館づくりを心掛けてきました。また、市内に9つの図書館を設置し、身近なところにある、くらしに役立つ図書館を実現してきました。

この“5本の柱”は、市民の権利を守り、市民のための図書館を実現させるための方針であり、その後の策定された計画においても引き続き堅持・踏襲し、その実現に向けた取組を進めていきます。

（1）第1次図書館基本計画（平成22（2010）年度～平成26（2014）年度）

立川市図書館基本計画（第1次計画に相当）は、立川市第3次長期総合計画の第3次基本計画に基づく個別計画として、平成22（2010）年5月に策定したもので、「市民や地域の知的・創造活動を推進し、共に歩む図書館」を基本理念とし、取り組むべき4つの施策と70の具体的取組を示しました。

（2）第2次図書館基本計画（平成27（2015）年度～平成31（2019）年度）

第2次図書館基本計画は、立川市第4次長期総合計画の前期基本計画に基づく個別計画として、「地域の情報拠点として、くらしに役立つ身近な図書館」を基本理念と

し、3本の「施策の柱」を掲げ、10の基本事業及び25の具体的取組事項を展開しました。

（３）第３次図書館基本計画（令和２（2020）年度～令和６（2024）年度）

第３次図書館基本計画は、立川市第４次長期総合計画の後期基本計画に基づく個別計画として、「身近な情報拠点として、暮らしに役立ち市民の学びを支える図書館」を基本理念とし、3本の「施策の柱」を掲げ、9の基本事業及び24の取組事項を展開しました。

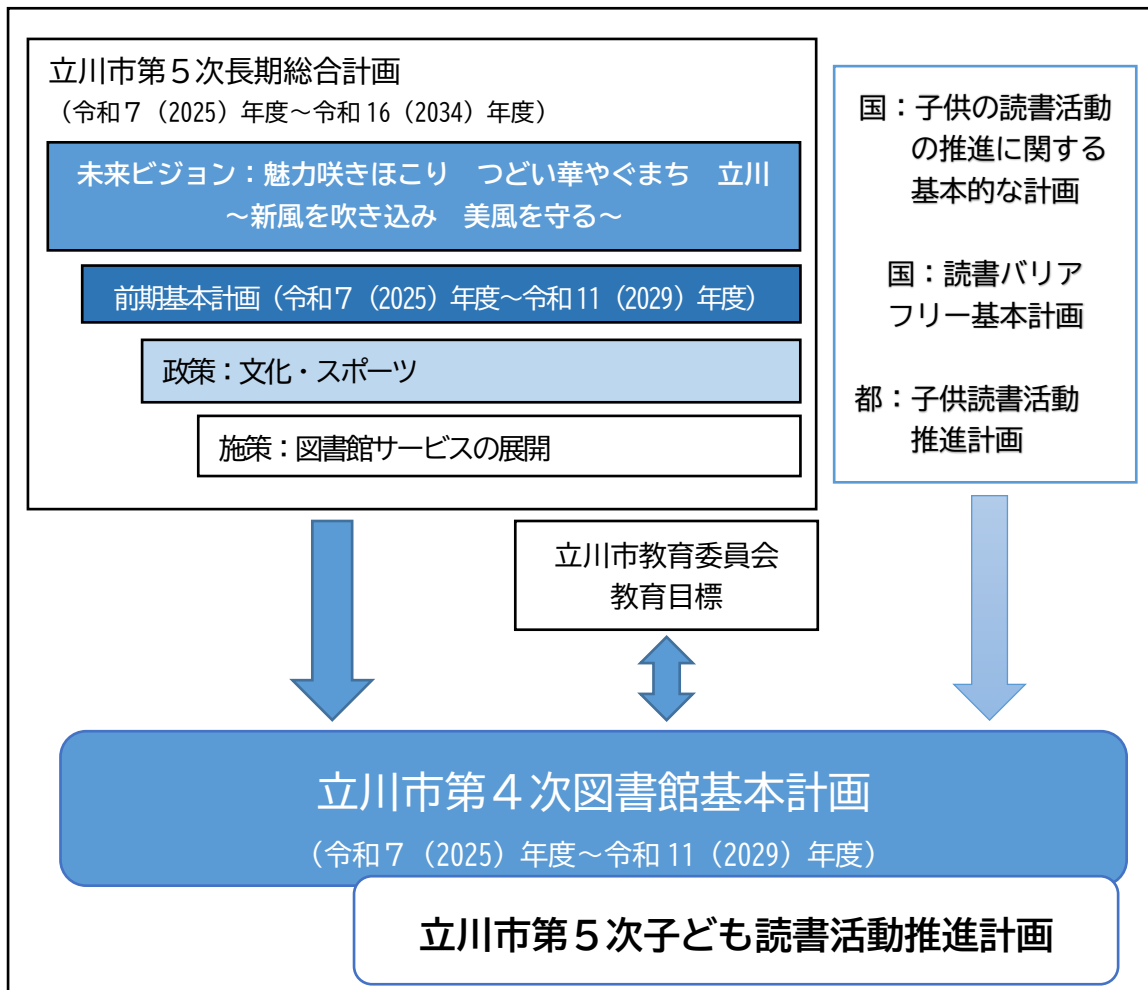
（４）第４次図書館基本計画（令和７（2025）年度～令和１１（2029）年度）

第４次図書館基本計画は、これまでの取組を踏まえつつ、立川市第５次長期総合計画の前期基本計画に基づく個別計画として、「暮らしに役立つ身近な図書館～読書や学びの場を確保し課題解決を支援～」を基本理念とし、5つの取組施策を掲げるとともに24の取組事項を展開し、今後5年間の本市図書館サービスの方向性を具体的に示しています。

なお、図書館における計画策定の必要性については、図書館法において、図書館の「運営の状況に関する評価等」および「運営の状況に関する情報の提供」において規定されています。また、図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年12月19日文科省告示第172号）では、図書館事業に関する基本的な運営方針の策定と、それを踏まえた適切な指標や目標の設定、事業計画の策定と公表に努めることが示されています。

2 計画の位置づけ

本計画は、第5次長期総合計画の前期基本計画に基づく個別計画として策定します。また、「第5次子ども読書活動推進計画」と整合性を図りながら、図書館運営の基本的な方向と具体的な方策を明らかにし、関連する取組施策を体系的に実施することとしています。

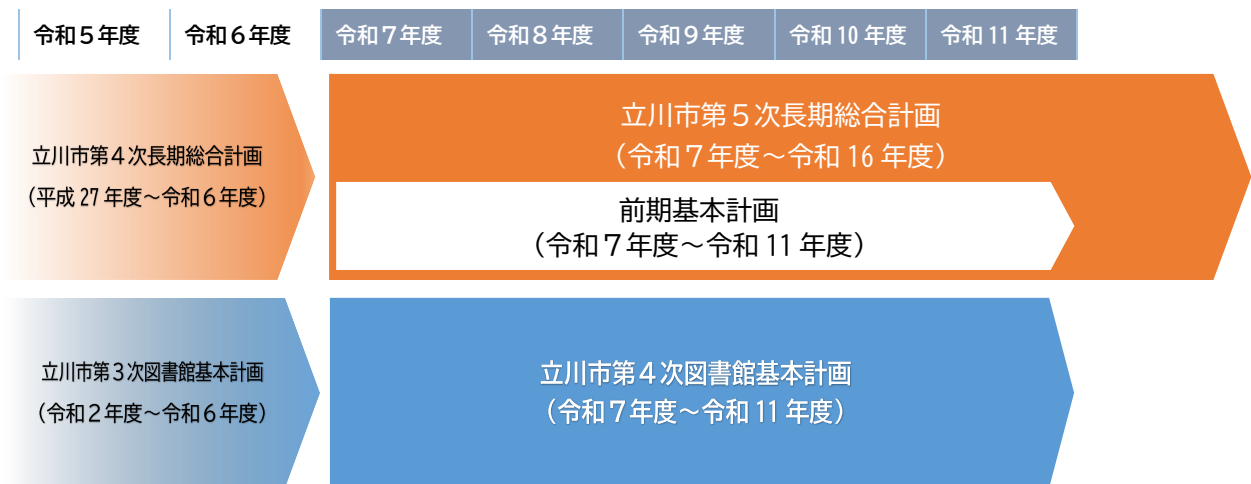


3 本計画と子ども読書活動推進計画

図書館に関する個別計画として、本計画とともに「立川市子ども読書活動推進計画」があり、子どもの読書にかかる具体的取組については、「第5次子ども読書活動推進計画」において一元的に管理し、本計画の中では「第5次子ども読書活動推進計画」全体を包括して管理することとします。

4 計画の期間

立川市第5次長期総合計画・前期基本計画の計画期間と整合を図り、令和7(2025)年度を初年度として、令和11(2029)年度までの5年間とします。



第2章 図書館を取り巻く状況

1 立川市図書館の現状

(1) 図書館の立地状況

- 立川市では中央図書館と8つの地区図書館を設置し、市内全域で図書館サービスを提供しています。
- 立川駅北口の伊勢丹前と南口の立川市子ども未来センター内にブックポストを設置し、資料返却の利便性を高めています。
- 地区図書館は指定管理者による管理・運営を行っています。

【立川市図書館マップ】



(2) 各図書館の概要

各図書館の概要は次のとおりです。

図書館名	所在地	開館年月※ ¹	延床面積 (㎡)	蔵書数※ ² (冊)
中央図書館	曙町 2-36-2	平成 7 年 1 月	4,951	525,991
柴崎図書館	柴崎町 2-20-5	平成 26 年 8 月	357	38,555
上砂図書館	上砂町 1-13-1	平成 12 年 4 月	669	71,896
幸図書館	幸町 5-83-1	昭和 53 年 7 月	110	25,646
西砂図書館	西砂町 6-12-10	昭和 53 年 7 月	405	67,389
多摩川図書館	富士見町 6-51-1	昭和 54 年 1 月	629	81,901
高松図書館	高松町 3-22-5	昭和 55 年 6 月	341	47,438
錦図書館	錦町 3-12-25	昭和 60 年 12 月	529	77,247
若葉図書館	若葉町 3-34-1	昭和 61 年 11 月	351	60,937

※¹ 柴崎図書館の開館年月は現在地に移設した年月

※² 令和 5 年度蔵書統計

(3) 開館時間・休館日

中央図書館と地区図書館（指定管理者）では開館時間と休館日が異なります。

館名	開館時間	休館日
中央図書館	火～金…10:00～20:00（4階は 17:00 まで） 土日祝…10:00～17:00	月曜、第 3 木曜
地区図書館	月～金…10:00～19:00 土日祝…10:00～17:00	第 2・4 月曜

(4) 近年の主な取組

- 電子図書館コンテンツの拡充

市内の企業、社会奉仕団体、個人からの寄贈を受け、「たちかわ電子図書館」の電子書籍コンテンツや児童書の読み放題コンテンツを充実させました。



- 図書館システムの更新

令和6（2024）年1月に図書館システムの更新を行い、スマートフォンで利用者IDバーコードを表示し貸出できるようにするなど機能追加を行いました。

- 学習席の拡充（中央図書館）

令和4（2022）年7月に IKEA 立川から家具等の寄贈を受け「くつろぎ読書学びコーナー」として学習活動や読書活動を行うスペースを整備したほか、全ての学習席（20席）で電源が利用できるようになりました。

- 公衆無線 LAN の設置（中央図書館）

令和6（2024）年1月から中央図書館で公衆無線 LAN が利用できるようになりました。

- 妊産婦向け図書館資料等宅配事業の試行

令和6（2024）年5月から市内在住の妊婦または出産後1年以内の来館が困難な方を対象に、図書館資料等の宅配サービスを試行的に実施しています。



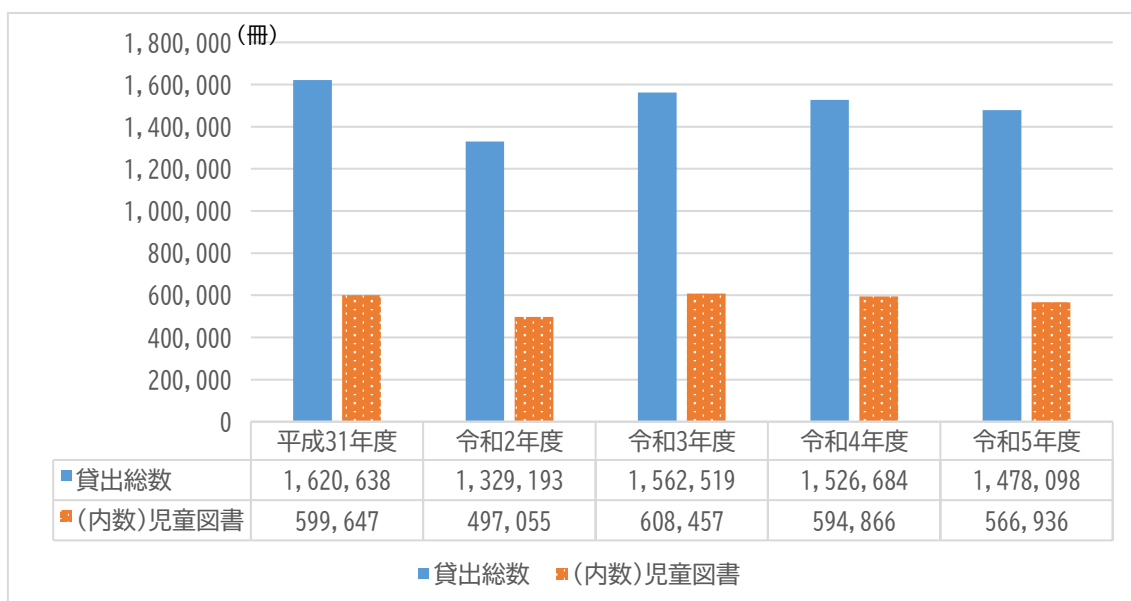
(5) 統計データ

①立川市図書館の主な実績（令和5（2023）年度）

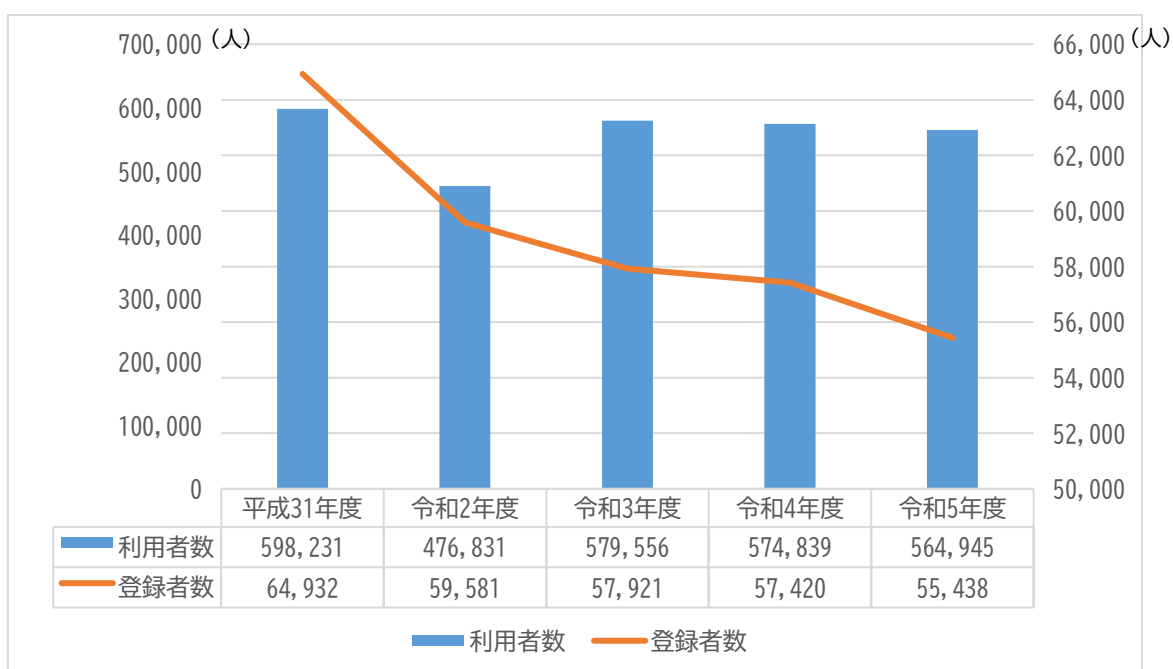
貸出総数 （うち児童図書）	1,478,098 冊 (566,936 冊)	市民1人あたり 貸出冊数	7.96 冊
蔵書冊数	997,000 冊	市民1人あたり 蔵書冊数	5.37 冊
登録者数	55,438 人	登録率	29.8%
レファレンス 件数	2,920 件	リクエスト 受付件数	388,582 件
電子書籍 タイトル数	8,376 点	電子書籍貸出数	83,007 点
利用者数	566,556 人	学習席利用者数 （中央図書館）	12,135 人
インターネット席 利用者数	2,422 人	資料費	74,628 千円



②貸出総数、児童図書貸出総数の推移



③利用者数、登録者数の推移



その他、利用状況の推移など、詳細は巻末の資料編（41 ページ以降）をご覧ください。

2 図書館利用者アンケート調査結果の概要

「立川市図書館利用者アンケート調査」を中央図書館で令和5（2023）年2月～3月に、地区図書館で令和4（2022）年10月～11月に実施し、1,673人の方からご意見をいただきました。アンケート結果の詳細は巻末の資料編（45ページ以降）をご覧ください。

（1）回答者の年齢割合

回答者の年齢構成は、令和5（2023）年度の図書館利用者の年齢別割合に比べ、70歳以上が多く、20歳未満が少なくなっています。

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
中央図書館	7	10	16	16	23	29	42	14
	4.5%	6.4%	10.2%	10.2%	14.6%	18.5%	26.8%	8.9%
地区図書館	51	45	159	321	236	221	401	82
	3.4%	3.0%	10.5%	21.2%	15.6%	14.6%	26.5%	5.4%

【参考】令和5（2023）年度図書館利用者の年齢別割合

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
割合	10%	7%	4%	10%	18%	18%	14%	19%	100%

（2）利用者の満足度について

「スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応の速さ・的確さ」では全館平均で84.7%と高い満足度となっています。一方、「所蔵している資料（本・雑誌・CD等）の内容、分野構成」では、全館平均で51.9%と低い満足度となっています。

①スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応の速さ・的確さ

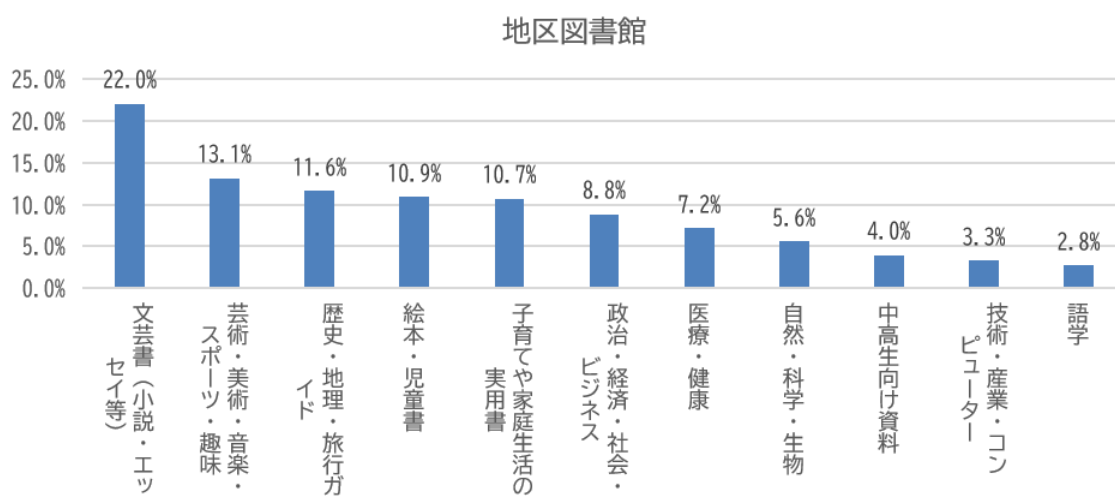
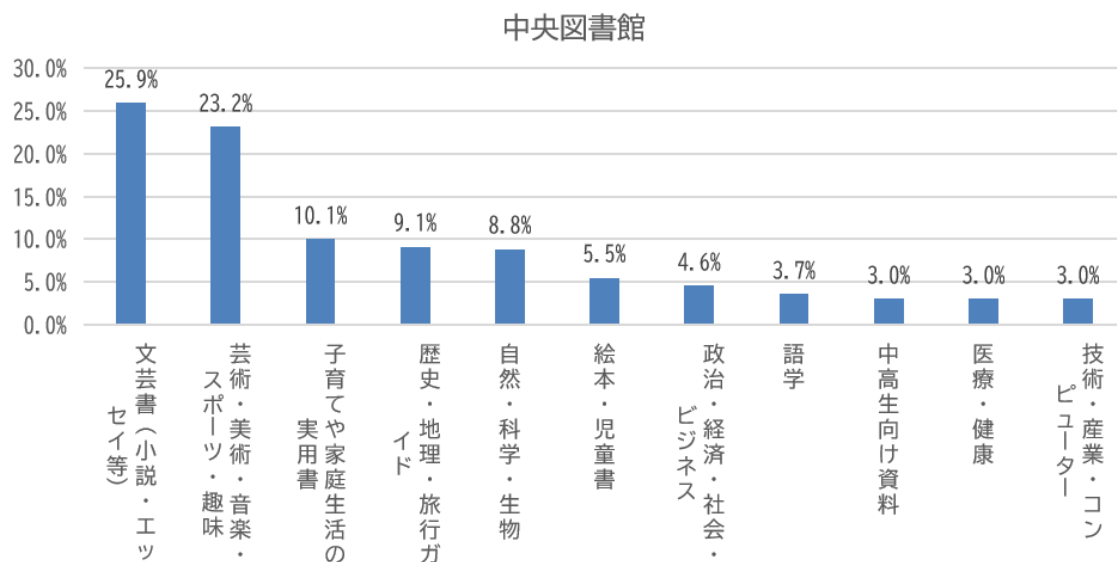
中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
63.7%	93%	90%	85.8%	89.4%	82%	88.6%	88.5%	81.5%	84.7%

②所蔵している資料（本・雑誌・CD等）の内容、分野構成

中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
69.2%	50%	57%	38.0%	53.4%	53%	47.7%	52.4%	46.3%	51.9%

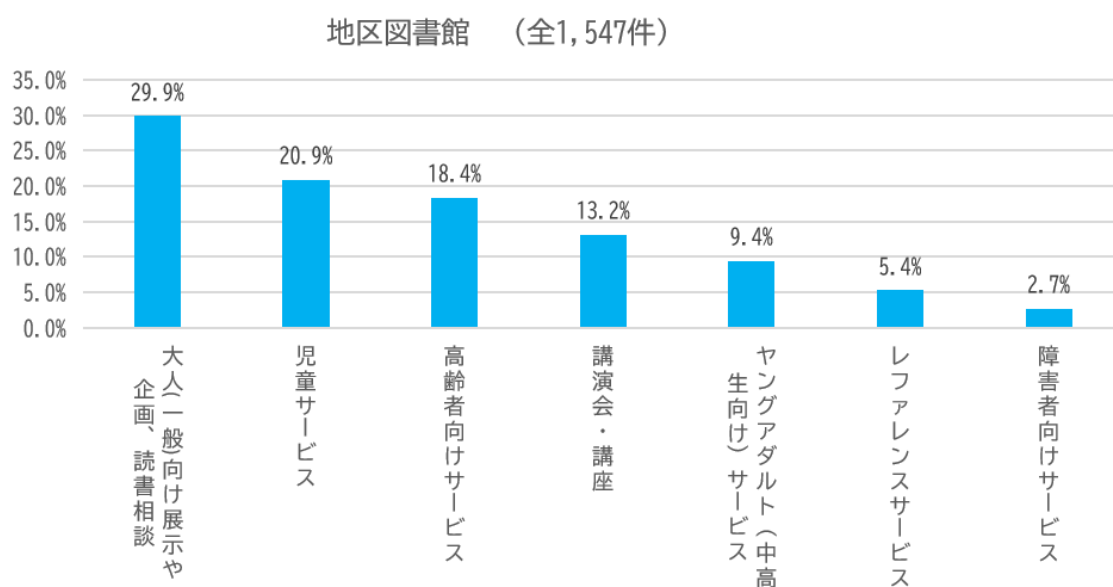
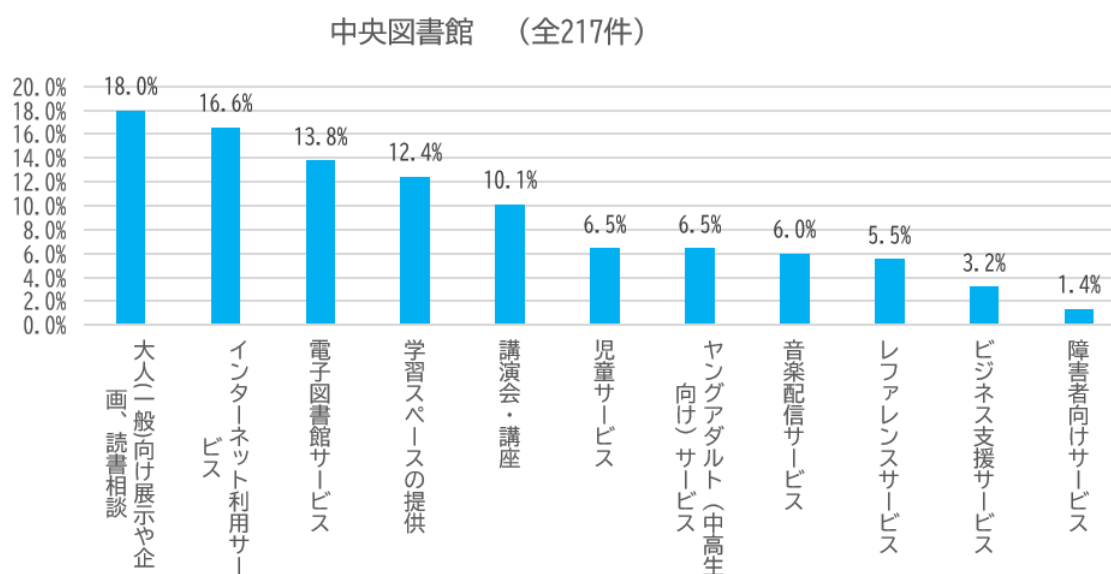
(3) 充実してほしい資料・情報（複数回答）について

中央図書館・地区図書館ともに、「文芸書（小説・エッセイ等）」、続いて「芸術・美術等」を充実してほしいという要望が多くなっています。その他、「子育てや家庭生活の実用書」、「歴史・地理・旅行ガイド」などの充実を求める声が多くなっています。



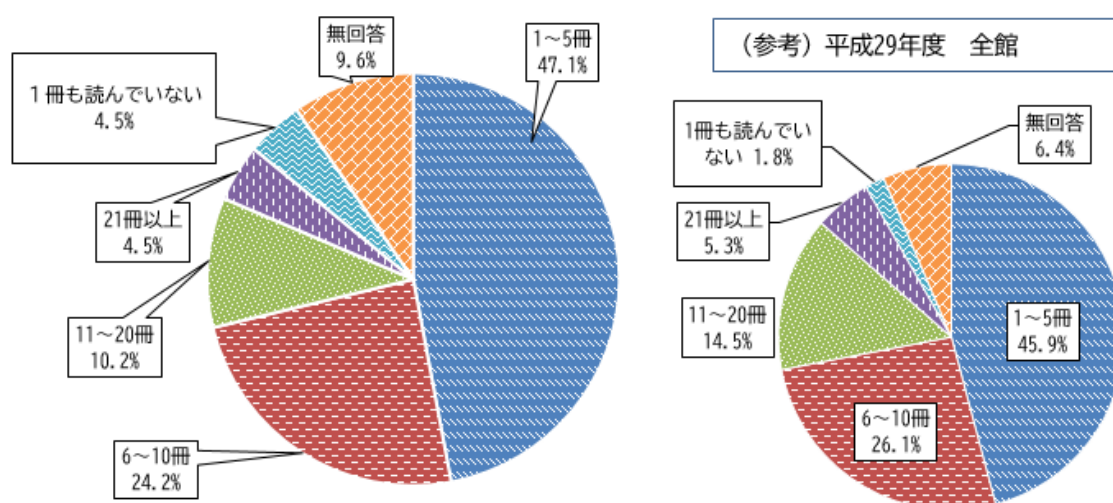
(4) 充実してほしいサービスについて

中央図書館と地区図書館ともに「大人(一般)向け展示や企画、読書相談」の充実が求められています。また、中央図書館では「インターネット利用サービス」や「電子図書館サービス」、「学習スペースの提供」、地区図書館では「児童サービス」や「高齢者向けサービス」の充実を求める声が多くなっております。



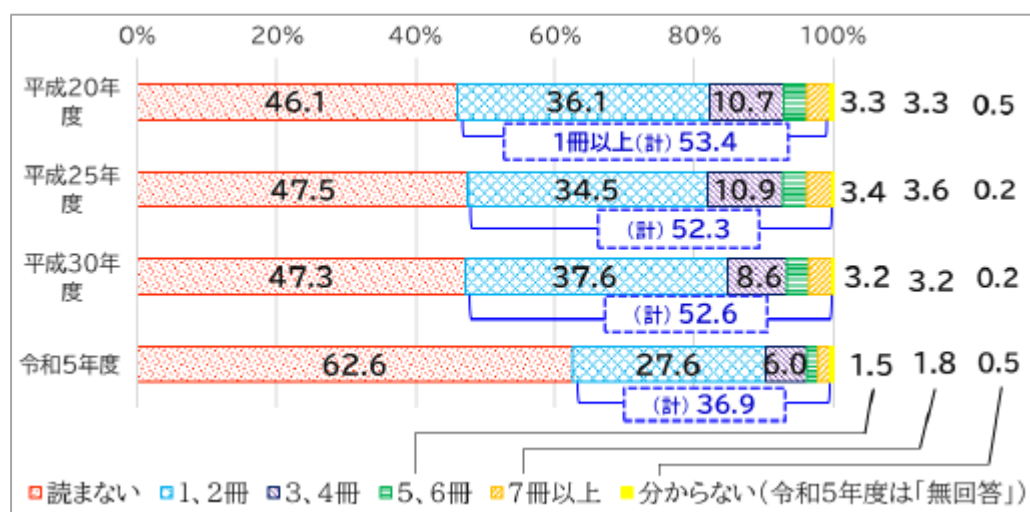
(5) 読書習慣について

図書館利用者へのアンケート調査ということもあり、本を読まない人の割合は非常に低く、「直近1か月間に1冊でも本・電子書籍（マンガを除く）を読んだ人」は86%でした。一方、文化庁が令和5（2023）年度に実施した「国語に関する世論調査」では、本を読まない人の割合は大幅に増加しており、読書量が減っている理由として、「情報機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機器）で時間が取られる」が最も多くなっています。



【参考】1か月に読む本の冊数（対象 全国16歳以上の個人を対象）

「1か月に読む本の冊数」は、「読まない」が令和5年度では6割台となっており、前回調査の平成30年度の約5割弱から大幅に上昇している。



（出典）文化庁 令和5年度「国語に関する世論調査」

3 第3次図書館基本計画の取組状況と課題

第3次図書館基本計画の取組状況について3つの施策の柱ごとに総括し、利用者アンケート調査の結果も踏まえ、立川市図書館の課題を整理しました。

(1) 施策の柱1「学びと課題解決を支援する図書館」

①取組状況

- 蔵書全体のバランスを考慮した計画的な資料の収集を進めました。
- 映像資料視聴覚サービスを廃止し、映像資料はDVDの貸出のみとしました。
- 市が発行する行政資料をデジタル化し、電子図書館で公開しました。
- 図書館公式Xでの情報発信やパスファインダー※¹の作成を行い、レファレンスサービス※²の周知を図りました。
- 様々な講座の開催やビジネス支援事業を通じて情報提供を行いました。

②課題

- 書籍代や関連経費の値上がりにより資料の購入数が減少しています。
- 地域・行政資料の網羅的収集とデジタル化を進める必要があります。
- パスファインダーやレファレンス事例を利用者に提供し、レファレンスサービスの周知を図ることが求められています。

(2) 施策の柱2「くらしに役立ち利用しやすい図書館」

①取組状況

- 学校図書館担当者連絡会でマルチメディアデイジー※³等のハンディキャップ資料を紹介しました。
- 外国語児童資料を地区館で巡回展示しました。
- 「たちかわ電子図書館」を開設しました。小中学校の全児童・生徒に学校用利用カードを配布したことで、小・中学生の利用が拡充し、子ども読書活動推進に大きく貢献しました。
- 音訳者のスキルアップ講習会や養成講習会を実施しました。

※1 パスファインダー 図書館で調べものをする際に、資料や情報を探すための手引き

※2 レファレンスサービス 図書館の資料や各種情報を活用して調べものを支援するサービス。

※3 マルチメディアデイジー 音声と一緒に文字や画像が表示されるデジタル図書。発達障害、知的障害、肢体不自由、視覚障害などのために、読むことが困難な方に有効であるとされている。

②課題

- 庁内各部局との更なる連携・協力や庁内レファレンスの周知が必要です。
- 図書館を利用しない人のニーズを把握する必要があります。
- 高齢利用者へのハンディキャップサービスの周知や、ハンディキャップ資料の充実が求められています。
- 読み聞かせボランティア等の高齢化に伴い新たな人材の育成が課題です。

(3) 施策の柱3「図書館の効率的・効果的な運営」

①取組状況

- 中央図書館の映像再生機器老朽化のため、映像資料視聴覚サービスを廃止し、そのスペースを読書活動と学習活動が共存できる場として整備しました。
- 令和6年1月に図書館システムを更新し、図書館利用者カードのバーコードをスマートフォン等で表示し貸出できるようにするなど、利便性・機能性を高めました。
- 利用者への学習活動支援と災害時の通信手段を確保するため、中央図書館に公衆無線 LAN を導入しました。

②課題

- 中央図書館の老朽化が進んでおり、計画的な施設修繕を進めていく必要があります。
- 2社の指定管理者によって運営されている地区図書館について、統一性・均一性の確保や学校など関連団体との調整の効率化などを検討する必要があります。
- 専門性の高い職員の育成やノウハウ・技術の着実な伝承・引継ぎを継続的に行う必要があります。

第3章 図書館の目指す姿

1 第5次長期総合計画・前期基本計画

立川市図書館は、立川市5次長期総合計画前期基本計画（令和7（2025）年度～令和11（2029）年度）に基づき、「施策45 図書館サービスの展開」を推進するため、読書や学びの場を確保し、必要な資料や情報を提供することで市民の豊かな心の育成や課題解決の支援に取り組めます。また、常に改善と挑戦し続ける意識を持ち、学校をはじめとする教育機関や地域、ボランティア団体等関係機関・関係団体、庁内各部署と連携、協力することでより充実した図書館サービスの推進を目指します。

施策45 図書館サービスの展開

施策の目的

読書や学びの場を確保し、必要な資料や情報を提供することで、市民の豊かな心の育成や課題解決の支援に取り組めます。

施策の特徴、ポイント

図書館9館と電子図書館による読書と学びの場の確保

主な課題

- 1 電子図書館運営における学校連携・民間連携事業の安定した運用が求められています。
- 2 子どもの読書量や図書館利用の減少への対応、中高生世代への図書館利用のアプローチが求められています。
- 3 地域資料（行政資料を含む）の網羅的な収集と、デジタル化を含めた体系的な整理・保存のあり方について工夫が求められています。
- 4 施設の老朽化対策のほか、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化といった社会的ニーズへの対応が必要です。

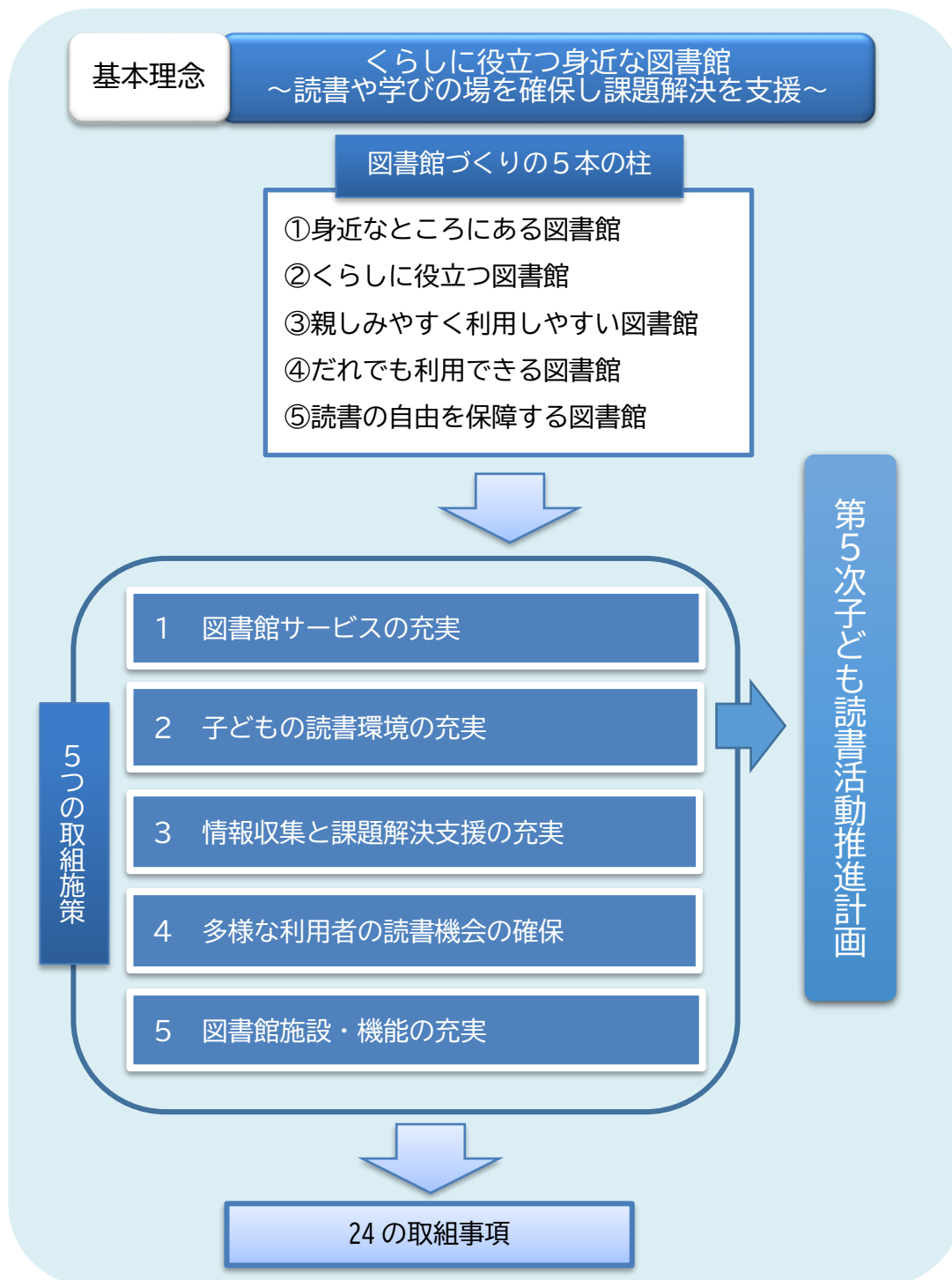
基本事業

- 1 図書館サービスの充実
- 2 子どもの読書環境の充実
- 3 情報収集と課題解決支援の充実
- 4 図書館施設・機能の充実

基本事業	成果指標	基準値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
1	貸出総数	1,478,098 冊	1,478,000 冊以上
2	児童図書の貸出総数	566,936 冊	567,000 冊以上
3	レファレンス処理件数	2,920 件	3,066 件
4	図書館資料を借りた延べ利用者数	566,556 人	567,000 人以上

2 計画の体系

本計画では、第5次長期総合計画の前期基本計画の中での施策目標を受けて、「くらしに役立つ身近な図書館～読書や学びの場を確保し課題解決を支援～」を基本理念とし、今後5年間を見据えた5つの「取組施策」を掲げ、24の具体的な取組を展開していきます。



第4章 計画の取組項目

基本理念：くらしに役立つ身近な図書館
～読書や学びの場を確保し課題解決を支援～

取組施策	取組事項
1 図書館サービスの充実	(1) 収集・除籍方針や基準の見直し (2) 図書資料の計画的な収集・保存 (3) 視聴覚資料の計画的な収集・保存 (4) たちかわ電子図書館のコンテンツ充実 (5) 庁内各部局との積極的な連携 (6) 地域関係機関や他自治体との連携 (7) 効果的な情報発信 (8) 企画（テーマ別）展示・イベントの充実 (9) 地域の特性やニーズに応じた図書館サービスの提供 (10) 利用者ニーズの把握
2 子どもの読書環境の充実	(11) 第5次子ども読書活動推進計画の推進 (12) 地域・行政資料の計画的な収集・保存 (13) 資料のデジタル化の推進
3 情報収集と課題解決支援の充実	(14) 調べものの相談（レファレンスサービス）の充実 (15) 課題解決と学習支援 (16) 専門性の高い職員の育成と確保
4 多様な利用者の読書機会の確保	(17) 図書館の利用に障害がある方へのサービスの充実 (18) 国際化に対応した図書館サービスの推進 (19) ボランティア団体等への支援と連携
5 図書館施設・機能の充実	(20) 図書館施設・設備の計画的な改修 (21) 地区図書館内 Web 環境の整備 (22) 中央図書館の果たすべき役割の検討 (23) 地域の情報拠点としての地区図書館運営 (24) 図書館システムやホームページ機能の改良

取組施策1 図書館サービスの充実

- 市民の知的好奇心を満たし、市民生活に関する様々な情報を提供するため、資料の収集・整理・保存を進めるとともに、電子や視聴覚資料など様々な媒体によるサービスの充実に取り組みます。
- 図書館(電子含む)における図書資料の貸出、閲覧等の利用促進と、本や読書の魅力を伝える行事等の開催や情報発信に取り組みます。
- 市内各部局との連携を強化することにより、提供する資料・情報内容の充実を図るとともに、市内に存在する国文学研究資料館等の各種政府機関・学術関連機関、地域関連機関と連携し、お互いが持つ強みを生かせるような関係構築を促進します。
- 中央図書館による統括のもと、8館の地区図書館による身近な読書環境を確保します。

取組事項	概要
(1)収集・除籍方針や基準の定期的な見直し	● 社会動向により常に変化している利用者ニーズに応えるため、定期的に資料収集方針や基準の見直しを図ります。 ● 最適な蔵書構成を維持するために、共同保存庫構想^{※1}の動向にも注目しながら、除籍・保存基準の見直しも図っていきます。
(2)図書資料の計画的な収集・保存	● 利用者が抱える様々な問題の解決に必要な資料を計画的に収集し保存します。 ● 各世代の利用者のニーズや地域の特性、社会動向を敏感に読み取り、計画的に資料を収集し保存します。



※1 共同保存庫構想

2002年東京都立図書館再編による大量除籍や多摩地域公共図書館に対するサービスの低下に対応するため多摩地域共同保存図書館構想から始まる多摩地域の資料保存の活動

取組事項	概要
(3) 視聴覚資料の計画的な 収集・保存	● 視聴覚資料（CD・DVD等）の収集方針に基づいて資料の収集・保存を進めていきます。 ● 立川市図書館で導入している音楽配信サービス※1を継続しつつ図書館向けの新たな音楽配信サービスや映像資料・配信サービスなど適切なサービスのあり方について調査・研究を進めます。 ● 配信サービスに利用の主流が推移しディスクメディアが衰退しているため、CD・DVDの収集・管理方法について研究を進めていきます。
(4) たちかわ電子図書館の コンテンツ充実	● 電子図書館と相性が良いコンテンツ※2を中心に選書を行い資料を充実させます。 ● 小学生に次いで利用が多い30～50歳代を対象としたコンテンツを研究し、さらなる利用拡大を図ります。 ● 小・中学生の調べ学習等にも利用できる地域資料のデジタル化等を通じて、更なる利用促進に努めます。 ● 市販では数が少ない立川市関連のコンテンツを独自に登録して活用を図ります。

【参考】たちかわ電子図書館の令和5年度利用者数（年齢別）

年代	～5歳	6～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	その他	合計
実利用者数	19	3,618	189	44	59	155	358	333	317	163	75	10	135	5,475

※1 立川市図書館で導入している音楽配信サービス

平成31年1月から導入しているクラシックを中心とした音楽配信サービス「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」

※2 電子図書館と相性が良いコンテンツ

電子書籍は利用期限（2年、5年等）や回数制限（貸出52回まで等）があるコンテンツが多いため一定期間で買い替えを行うコンテンツや、ガイドブックなど持ち運んで閲覧する機会の多いコンテンツなど。

取組事項	概要
(5) 庁内各部署との積極的な連携	● 庁内各部署と連携して様々な企画展示を行い、行政の情報提供施設として市民への情報発信を行います。 ● 図書館が行っている庁内レファレンスのPRを行い、連携を強めます。
(6) 地域関係機関や他自治体との連携	● 市内にある各種研究機関・官公庁や商業関連施設などと連携した企画展示や講演会・講座等のイベントを継続実施し、さらに情報交流や連携を深めることにより、広範囲な図書館サービスの展開に生かしていきます。 ● 隣接市図書館との相互利用サービス※1の実施状況について検証し、より使いやすい図書館を目指して検討を進めます。
(7) 効果的な情報発信	● 市の広報誌や図書館ホームページはもとより、図書館公式Xや地域情報誌などを活用して、図書館の最新情報を発信します。 ● 図書館サービスをより魅力的にわかりやすく発信していきます。 ● 図書館未利用者に対しても情報発信ができるよう、市内イベント等での周知活動を行います。

※1 隣接市図書館との相互利用サービス

立川市に隣接する8市（国立市、昭島市、武蔵村山市、国分寺市、東大和市、小平市、日野市、福生市）と相互利用サービスを実施している。

取組事項	概要
(8)企画(テーマ別)展示・イベントの充実	● 季節や時宜に応じた企画展示や、読書ウィーク・講演会・講座、児童・ヤングアダルト向けの催物などのイベントを充実させます。 ● 図書館の楽しさや活用法はもとより、タイムリーな情報を発信していきます。 ● 各種イベント等を通して、図書館情報を発信することで、新たな利用者層の拡大を図ります。 ● 利用者同士の交流の場を創出できるような各種イベント等を検討します。
(9)地域の特性やニーズに応じた図書館サービスの提供	● 中央図書館・地区図書館それぞれがおかれている地域の特性やニーズを捉えて資料収集を進めます。 ● 特色のあるコーナーづくり※¹や企画展示・イベントなどの充実を図り、市民に役立つ図書館サービスを提供します。
(10)利用者ニーズの把握	● 多様な利用者ニーズを把握し、的確に対応できるように、幅広い層の利用者を対象にアンケートを実施します。 ● 様々な統計データを分析・活用し、潜在ニーズの把握に努めていきます。

※1 特色のあるコーナーづくり

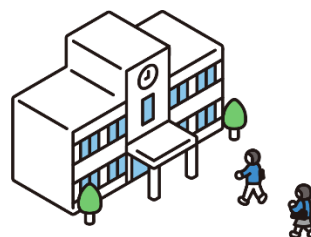
地域の特性に合わせた独自コーナーを開設し、情報提供している。

- 西砂図書館 飛行機・飛行場コーナー
- 多摩川図書館 空襲関連コーナー
- 幸図書館・若葉図書館 子育て支援コーナー
- 柴崎図書館 シルバー世代コーナー
- 上砂図書館 スキルアップコーナー
- 高松図書館 BOOK&CINEMA コーナー
- 錦図書館 時代小説文庫コーナー、ビジネス図書コーナー

取組施策2 子どもの読書環境の充実

- 図書館として子どもの読書活動の推進と、読書環境の整備に取り組めます。
- 家庭や地域で読書しやすい環境の整備のため、関係機関・部署との連携強化を進めます。
- 市内の学校や学校図書館との連携により、児童・生徒が読書に取り組める環境整備を進めます。
- 具体的な取組は、第5次子ども読書活動推進計画で進捗管理を行います。

取組事項	概要
(11)第5次子ども読書活動推進計画 の取組の推進	● 子ども読書活動推進計画の取組状況について進捗管理を行うとともに、関連機関等と連携を図り、子どもの読書環境の整備・充実を推進します。 ● 家庭や地域、学校・学校図書館での読書活動をより充実させるよう取り組みます。 ● 子どもたちの読書意欲を高め、図書館に親しむ機会を提供します。 ● 多様な子どもたちが読書を楽しめる環境整備に努めます。



取組施策3 情報収集と課題解決支援の充実

- 地域・行政資料の計画的な収集・保存を進めるとともに、資料のデジタル化を含めた体系的な整理・保存の在り方を検討します。
- 調べものの相談（レファレンスサービス）の充実とともに、図書館職員の資質の向上を進め、専門性の高い職員の育成を推進します。

取組事項	概要
(12)地域・行政資料の計画的な収集・保存	● 市の財産である地域・行政資料を網羅的に収集できるよう、市の関係部署や市内各種関連機関との連携を図ります。 ● 市民が活用できるように資料を整理し、提供・保存します。
(13)資料のデジタル化の推進	● 市の各部署が作成した行政資料のデジタルデータを収集し、図書館ホームページで公開します。 ● 国立国会図書館デジタルコレクションや地理院地図など、インターネットで無料公開されているデジタル資料を紹介し、市民が情報をより多く収集・活用できるように努めます。
(14)調べものの相談（レファレンスサービス）の充実	● 人と情報を結びつけるレファレンスサービスを講座の開催や SNS などを使って PR します。 ● 情報の取得方法や資料の活用方法などを展示や SNS を活用して周知に努めます。 ● レファレンス事例をデータ化し、図書館ホームページや国会図書館レファレンス協同データベースなどを活用して事例を公開します。



取組事項	概要
(15)課題解決と学習支援	● 様々なライフステージの課題を解決するため、関係団体と連携を図り、情報提供を行います。 ● 市の産業観光課や創業支援団体などと連携してビジネス支援サービスを提供します。 ● 情報検索などの講座を開催し、図書館をより活用するための支援を行います。
(16)専門性の高い職員の育成と確保	● 国立国会図書館や都立図書館などが主催する外部研修を活用して職員を育成します。 ● 図書館関係団体が実施する各種研修を活用し、職員のレベルに合わせてスキルアップを図ります。 ● 専門的知識と経験を有した市職員による事業継承を着実にを行います。 ● 図書館職員としての専門知識だけでなく、行政管理能力を兼ね備えた人材の確保・育成に努めます。



取組施策4 多様な利用者の読書機会の確保

- 国の読書バリアフリー計画を踏まえ、障害の有無や第一言語（母語）の違いに関わらず、誰もが読書を楽しめる環境整備を推進します。
- 多摩地区随一の外国語蔵書数を活用し、日本語以外の言語を母語とする外国人利用者のニーズに応えるほか、館内サイン・パンフレット等の充実や「やさしい日本語」の活用を進めます。
- ボランティア団体や市民団体との連携を強化し、利用者のニーズに柔軟に対応できる体制づくりを進めます。

取組事項	概要
(17)図書館の利用に障害がある方へのサービスの充実	● 図書館の利用に障害がある方のニーズの把握に努め、より利用しやすいサービスの提供に努めます。 ● 図書館へ来館することが困難な方々への宅配サービスの体制強化を進めます。 ● 録音図書等のアクセシブルな資料の作成および収集を積極的に行い、様々な障害に適した読書方法の提供に努めます。
(18)国際化に対応した図書館サービスの推進	● 外国語資料の利用状況や、市内に在住する外国人の統計※¹に基づいて、計画的に資料を収集します。 ● 「やさしい日本語」※²の活用を進めます。 ● 外国語資料を活用し、図書館が外国語学習の窓口となれるよう、多言語多読※³に関する取組を検討します。

※1 2025年 立川市の外国人人口 出典：東京都「外国人人口令和7年1月」

国籍	中国	韓国	ベトナム	フィリピン	ネパール	その他	合計
人数	2,353人	756人	719人	426人	413人	1,411人	6,078人

※2 やさしい日本語

普段使われている言葉を外国人にもわかるように配慮した、簡単な日本語のこと

※3 多言語多読

やさしい絵本から辞書を使わずに楽しくたくさん読んで外国語を身に付けていく方法

取組事項	概要
(19)ボランティア団体等への 支援と連携	● ボランティア団体等と連携し、イベントの企画・運営を通して協力体制を強化します。 ● ボランティアの養成講座やスキルアップ講座を開催し、ボランティアの育成や支援に努めます。



取組施策5 図書館施設・機能の充実

- 図書館施設利用者が安全で快適に利用できるよう、施設の適正な維持管理を行います。
- 図書館情報管理システムの安定運用と、時代のニーズや市民の利便性向上の視点を取り入れたサービスの充実に取り組みます。
- 読書活動や調査研究活動を通じて、多様な価値観の醸成や課題解決等の支援につながる生涯学習拠点としての図書館機能の強化に取り組みます。

取組事項	概要
(20)図書館施設・設備の計画的な改修	● 安全で快適に利用できる施設環境を整えます。 ● 建物・設備・備品の点検、補修、修繕を適切に行います。 ● LED 照明設備改修工事を順次進めます。 ● 施設の修繕計画の策定とあり方について検討します。
(21)地区図書館内 Web 環境の整備	● 利用者に対して快適な利用環境を提供するため、全館に順次、公衆無線 LAN を導入していきます。
(22)中央図書館の果たすべき役割の検討	● 地区図書館のサービス内容の充実に向けた支援強化を図ります。 ● 各地区館の地域の特性の把握とそれに応じた取組みを行います。 ● 効率的・効果的な図書館運営を推進します。 ● 図書館運営のノウハウの承継・蓄積、サービスの向上を図ります。

取組事項	概要
(23)地域の情報拠点としての地区図書館運営	● 地域の利用者のニーズを把握し、その特色を活かし、地域の情報拠点としての地区図書館運営を進めます。 ● 館内の環境整備・設備の更新を進めます。
(24)図書館システムやホームページ機能の改良	● より使いやすく、わかりやすい図書館ホームページにするため、機能やデザインを随時更新します。 ● 利便性の向上や新しいサービスの提供に努めます。 ● パスワードやメールアドレスの登録を促進し、図書館ホームページの利用を促します。



第5章 計画の推進にあたって

1 図書館運営の一層の推進

今後の図書館運営については、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえて、利用者及び市民に適切な資料や情報を提供することができるよう努めるとともに、読書活動の振興を担う機関として、またくらしに役立つ身近な図書館として利用者及び市民のニーズに応え、地域の実情に即した運営に努めます。

また、高度化・多様化する利用者及び市民の要望に対応し、自発的な学習活動を支援する機能の充実を図るために、図書館相互利用のみならず学校図書館との連携を積極的に進めるほか、社会教育施設や庁内各部局、各種行政機関、地域の関係機関等との協力を一層推進します。

さらに、読書離れやスマートフォン等の情報機器の利用の進展による読書環境への影響も勘案し、たちかわ電子図書館のコンテンツ充実や、インターネット検索だけでは解決しづらいより踏み込んだ調べもの等の課題解決支援を実施し、誰もが利用しやすいくらしに役立つ図書館を目指して各種取組を進めていきます。

なお、今後5年間の計画期間においては、社会状況の変化等に応じて、新たに検討や対策が必要な課題が発生することが予測されます。本市図書館の基本的運営方針として策定した本計画を踏まえ、図書館サービス及びその他図書館の運営に関する事業計画を年度ごとに策定し、図書館行政の計画的な推進を図ります。

2 計画の進捗管理

第4次図書館基本計画は、立川市第5次長期総合計画前期基本計画の分野別個別計画であることから、第5次長期総合計画や他の関連計画との整合性を図りつつ、第5次子ども読書活動推進計画を包含して計画を推進します。

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき行う「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」や、市の「行政評価（施策評価及び事務事業評価）」、立川市図書館協議会による「第三者評価」等を活用して、計画の進捗を管理するとともに、効果的かつ着実な推進を図ります。

資料編

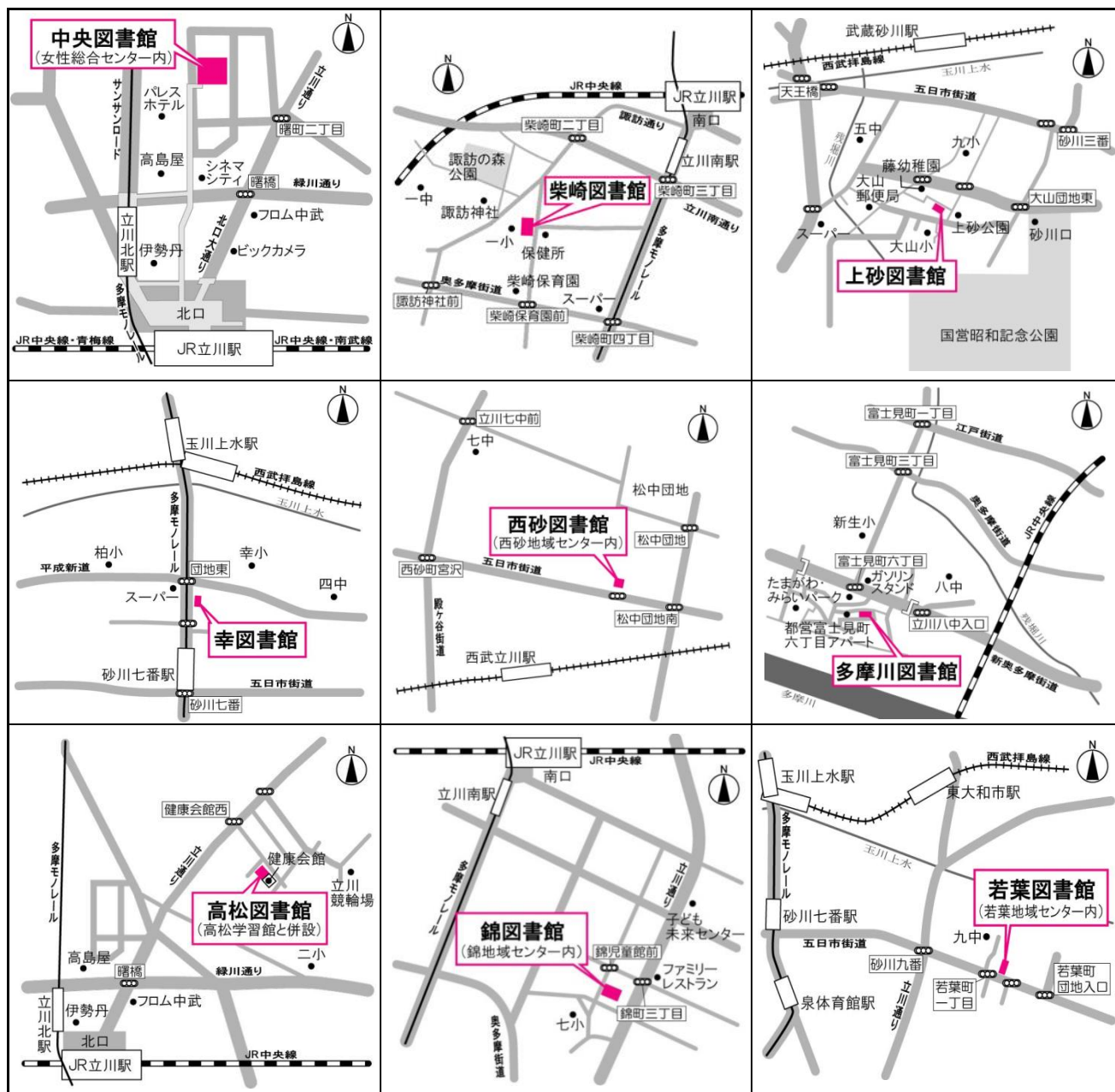
1. 本市図書館の概要
2. 本市図書館の沿革
3. 年度別利用等の状況 その1
4. 年度別利用等の状況 その2
5. 多摩地区 26 市立図書館利用状況
6. 令和4（2022）年度立川市図書館利用者アンケート調査結果
7. 計画策定体制、経過

1 本市図書館の概要

(1) 施設の概要

館名 (開館年月日)	所在地・電話等	建物構造・延床面積	併設施設	駐車場・駐輪場	交通アクセス
中央図書館 (H7.1.12)	曙町 2-36-2 ファーレ立川セ ンタースクエア 内 2階～4階 TEL 528-6800 FAX 528-6806	〔建物構造〕 RC 造 12 階建 て (図書館は 2～4 階) 〔延床面積〕 4,951 m ² (開 架 2,120 m ² 、書庫 410 m ² 、 対面朗読室 22 m ² 、事務室 257 m ² 、その他 2,142 m ²)	女性総合セン ター 生涯学習情報 コーナー	〔駐車場〕 市営 北口第一駐車場 (有料) 〔駐輪場〕 市営 北口第一駐輪場 (有料、3 時間ま で無料)	J R 立川駅北 口から徒歩 8 分 多摩モノレ ール立川北駅か ら徒歩 7 分
柴崎図書館 (S53.7.1) (移設:H26.8.31)	柴崎町 2-20-5 TEL 525-6177 FAX 522-1845	〔建物構造〕 RC 造 3 階建て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 357 m ² (開架 312 m ² 、事務室 45 m ²)	第一小学校 柴崎学習館 柴崎学童保育 所	〔駐車場〕 なし 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅南 口から徒歩 10 分
上砂図書館 (H12.4.1)	上砂町 1-13-1 都営上砂町 1 丁 目アパート内 2 階 TEL 535-1531 FAX 536-8268	〔建物構造〕 RC 造 12 階建 て (図書館は 2 階) 〔延床面積〕 669 m ² (開架 448 m ² 、書庫 45 m ² 、対面朗 読室 18 m ² 、事務室 43 m ² 、 その他 115 m ²)	上砂会館 上砂児童館 上砂地域福祉 サービスセン ター	〔駐車場〕 17 台 (上砂会館等と 共用) 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅北 口からバスで 15 分、大山小学 校下車徒歩 1 分
幸図書館 (S53.7.1)	幸町 5-83-1 TEL 536-8308 FAX 534-0234	〔建物構造〕 RC 造 2 階建て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 110 m ² (開架 74 m ² 、事務室 27 m ² 、その他 9 m ²)	こぶし会館	〔駐車場〕 なし 〔駐輪場〕 あり	多摩モノレ ール砂川七番駅 から徒歩 3 分
西砂図書館 (S53.7.11)	西砂町 6-12-10 TEL 531-0432 FAX 531-0026	〔建物構造〕 RC 造 2 階建て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 405 m ² (開架 268 m ² 、書庫 42 m ² 、事務室 32 m ² 、その他 63 m ²)	西砂学習館 西部連絡所	〔駐車場〕 26 台 (西砂学習館等 と共用) 〔駐輪場〕 あり	西武拝島線西 武立川駅から 徒歩 10 分
多摩川図書館 (S54.1.30)	富士見町 6-51-1 都営富士見町ア パート内 TEL 525-6905 FAX 523-9253	〔建物構造〕 RC 造 10 階建 て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 629 m ² (開架 307 m ² 、書庫 155 m ² 、事務室 45 m ² 、その他 122 m ²)	多摩川学童保 育所	〔駐車場〕 なし 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅南 口からバスで 15 分、富士見町 団地下車徒歩 3 分
高松図書館 (S55.6.28)	高松町 3-22-5 3 階 TEL 527-0015 FAX 523-9532	〔建物構造〕 RC 造 3 階建て (図書館は 3 階) 〔延床面積〕 341 m ² (開架 285 m ² 、対面朗読室 8 m ² 、事 務室 45 m ² 、その他 3 m ²)	高松学習館	〔駐車場〕 10 台 (高松学習館等 と共用) 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅北 口から徒歩 15 分
錦図書館 (S60.12.20)	錦町 3-12-25 TEL 525-7231 FAX 525-7233	〔建物構造〕 RC 造 2 階建て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 529 m ² (開架 327 m ² 、書庫 84 m ² 、事務室 100 m ² 、その他 18 m ²)	錦学習館 教育支援セン ター「たまが わ」	〔駐車場〕 6 台 (錦学習館等と 共用) 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅南 口から徒歩 15 分
若葉図書館 (S61.11.25)	若葉町 3-34-1 TEL 535-8841 FAX 535-8423	〔建物構造〕 RC 造 2 階建て (図書館は 1 階) 〔延床面積〕 351 m ² (開架 298 m ² 、事務室 53 m ²)	若葉会館 東部連絡所	〔駐車場〕 10 台 (若葉会館等と 共用) 〔駐輪場〕 あり	J R 立川駅北 口からバスで 10 分、砂川九番 下車徒歩 6 分

(2) 各館案内図



(3) 開館時間・休館日

館名	開館時間	休館日	備考
中央図書館	平日（火～金曜日）…10:00～20:00 土・日曜日、祝日…10:00～17:00	毎週月曜日 毎月第3木曜日	4階児童フロアは、平日も17:00で閉館
柴崎・上砂・多摩川図書館 （指定管理者…(株) ヴィアックス）	平日（月～金曜日）…10:00～19:00	毎月第2、第4月曜日	
幸・西砂・高松・錦・若葉図書館 （指定管理者…(株) 図書館流通センター）	土・日曜日、祝日…10:00～17:00		

(4) サービスの概要

[1] 各種サービスについて

①貸 出

〔個人貸出〕

- 貸出冊数 1人図書・雑誌10冊、視聴覚録音資料（CD・カセットテープ）3点、視聴覚映像資料（DVD）1点
（相互利用者、外国籍利用者は、図書・雑誌5冊、視聴覚録音資料1点まで、視聴覚映像資料は貸出できません）
- 貸出期間 2週間
- 返 却 立川市の資料であれば、市内どの図書館のカウンターでも返却可。
※休館日や夜間の返却にはブックポストを利用できます。
（ただし、視聴覚資料と立川市以外からの借用資料については、ブックポストへ返却はできません。）

〔団体貸出〕

1回300冊まで。最長3ヶ月間の貸出が可能です。

②予約・リクエストサービス（相互利用者は利用できません。）

図書・雑誌は20点まで予約・リクエストができます。利用者の求める資料を所蔵していない場合には、他市区町村立図書館、都立図書館等からの借用や新規購入により提供します。視聴覚資料はCD・カセットテープ3点まで、DVDは1点まで予約をすることができます。

③レファレンスサービス

様々な調査や質問に対して、図書館機能や資料を活用し、情報・資料等を提供します。



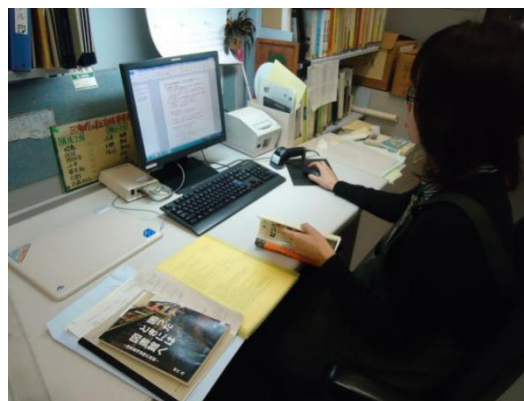
【レファレンス室】

④読書バリアフリーサービス

図書館を利用するのに障害のある人々に対して、朗読サービスや録音図書・点字図書の宅配・郵送サービスなどを実施しています。



【DAISY（デジタル録音）図書】



【録音図書作成】

⑤集会行事

おはなし会・映画会・講演会・講習会等を随時実施しています。

[2] 視聴覚資料サービスについて

CD、カセットテープ、DVD の貸出を実施しています。

※相互利用者は DVD の利用ができません。

[3] その他のサービスについて

①ヤングアダルト(YA)サービス

中・高校生を対象にした YA コーナーを設置し、資料提供しています。



【展示コーナー（ヤングアダルト）】

②外国語資料サービス

中央図書館では、外国語（英語・中国語・ハン
グル等）の図書、雑誌、新聞、絵本等の資料を
所蔵しています。



【外国語図書コーナー】

③くつろぎ読書学びコーナー（学習席）

中央図書館では、学習スペースとして申込制の学習席を設置しています。
申込不要の閲覧席やくつろぎスペースとしてソファ席もあります。



【くつろぎ読書学びコーナー】

2 本市図書館の沿革

年月日	事 項
昭和 22 年 1 月	(都立立川図書館開館)
昭和 23 年 6 月	(都立立川図書館が立川市公民館内に移転)
昭和 25 年 4 月	(図書館法公布)
昭和 28 年 7 月	(都立立川図書館移動図書館「むらさき号」巡回開始)
昭和 34 年 3 月	砂川町公民館図書室を設置(現在の幸図書館の場所に)
昭和 38 年 5 月	(立川市と砂川町が合併)
昭和 43 年 5 月	(錦町に都立立川社会教育会館が開館し、都立立川図書館が同館内に移転)
昭和 43 年 7 月	立川市移動図書館「大空号」が巡回開始(初代)
昭和 46 年 2 月	立川市中央公民館が開館し、同館内に図書室を設置
昭和 48 年 6 月	立川市砂川公民館が開館し、同館内に図書室を設置
昭和 49 年 4 月	移動図書館「大空号」を更新(2代目)
昭和 50 年 2 月	「立川の図書館をつくる会」が結成される
昭和 50 年 6 月	「市立図書館設置促進に関する請願」(6600 名の署名)が提出される
昭和 51 年 6 月	「立川市図書館計画審議会」を設置し、「図書館行政はどう進めたらよいか」を諮問
昭和 51 年 6 月	司書職の職員を初めて採用(2名)
昭和 51 年 9 月	公民館幸分館図書室(旧砂川町公民館図書室)を改修
昭和 52 年 5 月	貸出方式を変型ブラウン方式に変更
昭和 52 年 6 月	図書館計画審議会から、12 館構想などの答申が提出される
昭和 52 年 12 月	移動図書館「大空号」を更新(3代目)
昭和 52 年 12 月	「図書館行政基本計画」を策定
昭和 53 年 7 月 1 日	立川市図書館条例を制定(立川市図書館設置)
昭和 53 年 7 月 1 日	公民館図書室(柴崎・砂川・幸)及び移動図書館「大空号」を図書館へ移管
昭和 53 年 7 月 11 日	西砂図書館が開館
昭和 53 年 11 月	「立川市図書館協議会」を設置
昭和 54 年 1 月 30 日	多摩川図書館が開館
昭和 55 年 6 月 28 日	高松図書館が開館
昭和 56 年 11 月	点字図書、大活字本の貸出開始
昭和 57 年 8 月	カセットテープ(テープ図書など)の貸出開始
昭和 60 年 11 月	移動図書館「大空号」を更新(4代目)
昭和 60 年 12 月 20 日	錦図書館が開館
昭和 61 年 11 月 25 日	若葉図書館が開館
昭和 62 年 5 月	(都立多摩教育センターが開館し、同時に都立多摩図書館が開館する)
昭和 62 年 7 月 3 日	幸図書館が開館(公民館幸分館からこぶし会館への建て替えに伴い)
昭和 63 年 12 月	全図書館にブックポストを設置
昭和 63 年 12 月 21 日	立川市図書館情報総合管理システム(第1期)稼働。情報検索業務、図書発注、検品業務、図書費執行管理業務、蔵書管理業務を実施
平成元年 4 月	第3木曜日以外の木曜日を開館
平成2年 7 月 1 日	立川市図書館情報総合管理システム(第2期)稼働。各館に端末機を設置し、情報検索業務を実施
平成3年 3 月	CDの貸出開始(錦・若葉図書館)
平成4年 10 月 31 日	多摩川図書館に屋外閲覧所開設

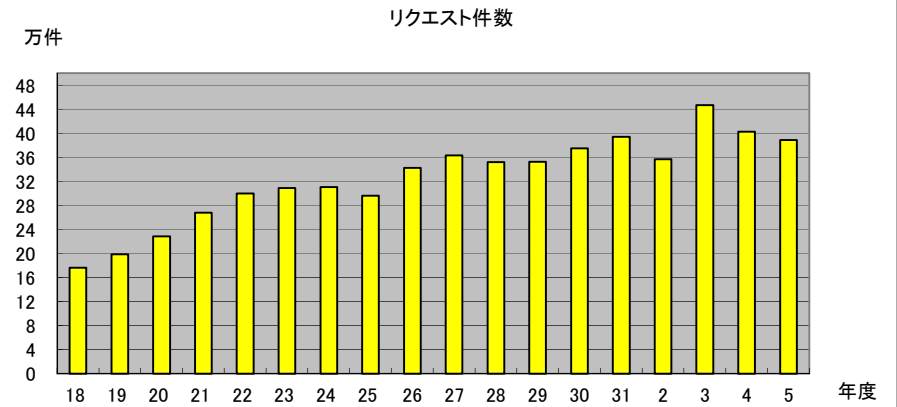
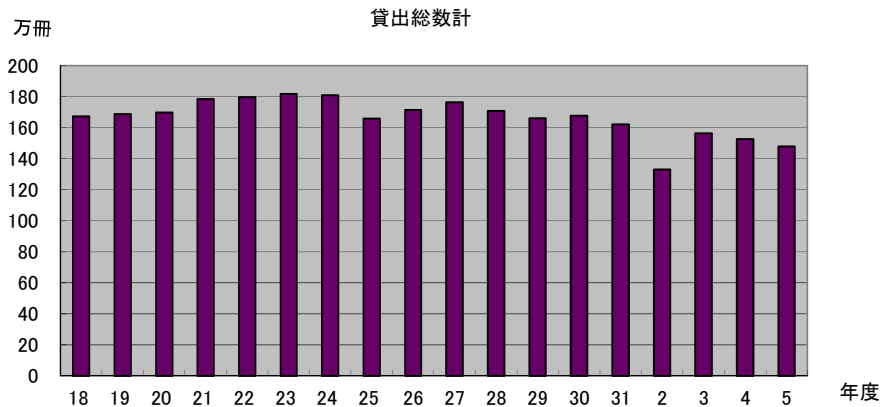
年月日	事 項
平成6年2月1日	コンピュータシステム稼働。利用者端末機を設置（西砂・多摩川・高松・錦・若葉図書館）
平成7年1月12日	中央図書館が開館
平成9年5月	巡回業務を委託
平成9年7月1日	昼休み窓口を開始（西砂・多摩川・高松・錦・若葉図書館）
平成9年10月31日	移動図書館を廃止
平成12年1月31日	砂川図書館を廃止
平成12年4月1日	上砂図書館が開館
平成13年11月	貸出中図書・雑誌のインターネット予約サービス開始
平成13年11月	立川市に関する新聞記事の見出し検索サービス開始
平成15年3月	明治・大正・昭和前期児童文学関連雑誌目録のインターネット公開開始
平成15年4月	電子メールを利用した予約資料の確保連絡サービス開始
平成16年7月	中央図書館の平日の開館時間を19時まで延長
平成17年4月	貸出点数を5点から10点に変更
平成17年9月	子ども読書活動推進計画策定
平成18年10月	たちかわ読書ウィーク開始
平成22年4月	貸出中図書・雑誌のインターネットによる延長手続きサービスの開始
平成22年5月	図書館基本計画、第2次子ども読書活動推進計画策定
平成22年6月	幸図書館、錦図書館に指定管理者制度を導入
平成25年4月	西砂図書館、高松図書館、若葉図書館に指定管理者制度を導入
平成25年7月	図書館新システム稼働、ICタグシステム導入
平成25年7月	貸出点数、CD予約の方法などを変更
平成26年2月	国立市と相互利用を開始
平成26年5月	昭島市、武蔵村山市と相互利用を開始
平成26年8月	柴崎図書館が移設・開館
平成27年4月	柴崎図書館、上砂図書館、多摩川図書館に指定管理者制度を導入
平成27年6月	国分寺市と相互利用を開始
平成27年7月	東大和市と相互利用を開始
平成27年7月	中央図書館の平日の開館時間を20時まで延長
平成27年7月	第2次図書館基本計画、第3次子ども読書活動推進計画を策定
平成27年9月	DVD貸出開始
平成29年4月	図書館協議会「中央図書館の望ましいあり方についての意見書」提出
平成30年4月	地区図書館全館の指定管理者更新（5年間）
平成31年1月	インターネット音楽配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）の開始
平成31年2月	小平市と相互利用を開始
令和元年5月	日野市、福生市と相互利用を開始
令和2年6月	第3次図書館基本計画、第4次子ども読書活動推進計画を策定
令和3年1月	「たちかわ電子図書館」を開設し、電子図書貸出開始
令和4年3月	中央図書館映像資料視聴覚サービスを廃止
令和4年7月	「くつろぎ読書学びコーナー」を中央図書館3階に開設
令和5年4月	中央図書館が子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞
令和6年1月	図書館システムを更新
令和6年1月	中央図書館に公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置

年月日	事 項
令和6年1月	音楽配信サービスの契約回線増加及びシングルサインオンに対応
令和6年3月	能登半島地震被災者支援事業の一環として、たちかわ電子書籍「児童書読み放題パック」を石川県輪島市の小中学生等が閲覧できるサービスを開始
令和6年5月	妊産婦向け図書館資料等宅配事業の試行実施

3 年度別利用等の状況 その1

項 目	区分	年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5
資 料 貸 出 総 数	一 般		952,806	947,836	963,283	1,023,103	1,015,466	1,027,065	981,982	937,912	994,254	1,015,056	981,417	949,606	970,154	938,311	767,493	883,424	865,153	845,673
	児 童		524,583	542,045	545,264	565,970	596,714	623,247	622,930	581,060	577,135	614,455	604,437	605,147	611,427	599,647	497,055	608,457	594,866	566,936
	視聴覚資料		194,774	196,531	189,554	195,521	183,264	167,276	203,738	139,323	142,883	133,649	121,077	104,375	94,891	82,680	64,645	70,638	66,665	65,489
	計		1,672,163	1,686,412	1,698,101	1,784,594	1,795,444	1,817,588	1,808,650	1,658,295	1,714,272	1,763,160	1,706,931	1,659,128	1,676,472	1,620,638	1,329,193	1,562,519	1,526,684	1,478,098
利 用 者 数	一 般		408,844	410,451	414,132	442,336	439,925	436,397	428,584	451,205	511,658	530,432	520,580	508,276	524,377	516,533	411,980	498,954	495,583	490,179
	児 童		69,133	68,539	71,486	69,150	71,165	72,346	69,356	71,674	72,620	79,991	79,366	81,802	83,432	81,698	64,851	80,602	79,256	74,766
	計		477,977	478,990	485,618	511,486	511,090	508,743	497,940	522,879	584,278	610,423	599,946	590,078	607,809	598,231	476,831	579,556	574,839	564,945
登 録 者 数	一 般		75,502	70,038	62,365	67,190	66,297	65,608	64,672	63,449	67,383	73,016	71,748	50,394	54,435	55,431	50,968	49,629	49,576	47,904
	児 童		8,680	8,168	9,054	9,066	8,913	8,919	8,745	8,726	10,475	9,545	9,665	8,873	9,388	9,501	8,613	8,292	7,844	7,534
	計		84,182	78,206	71,419	76,256	75,210	74,527	73,417	72,175	77,858	82,561	81,413	59,267	63,823	64,932	59,581	57,921	57,420	55,438
リ ク エ ス ト 件 数	一 般		160,855	187,285	216,542	256,310	286,256	295,311	296,693	288,913	336,350	356,890	346,901	347,170	369,971	390,013	354,247	444,214	400,494	386,676
	児 童		15,506	11,345	11,871	11,603	13,533	13,318	13,394	7,168	5,936	6,122	4,917	4,936	4,936	3,685	2,425	2,440	2,005	1,906
	計		176,361	198,630	228,413	267,913	299,789	308,629	310,087	296,081	342,286	363,012	351,818	352,106	374,907	393,698	356,672	446,654	402,499	388,582
レファレンス 件 数	一 般		4,288	3,857	3,342	4,872	4,007	4,562	4,391	4,174	4,333	4,668	4,558	4,076	4,126	3,939	2,418	2,695	2,926	2,677
	児 童		678	464	437	664	506	655	690	792	852	900	870	728	650	463	247	225	238	243
	計		4,966	4,321	3,779	5,536	4,513	5,217	5,081	4,966	5,185	5,568	5,428	4,804	4,776	4,402	2,665	2,920	3,164	2,920
蔵 書 数	一 般		586,816	596,609	605,263	619,635	626,961	639,841	651,408	656,801	648,921	652,055	656,708	661,126	662,288	658,163	659,828	660,873	663,422	667,443
	児 童		229,196	235,470	241,333	247,635	252,036	260,738	264,687	265,189	263,800	265,414	269,280	272,844	271,171	273,674	277,628	279,802	281,162	281,407
	視聴覚資料		45,372	46,985	48,273	49,497	50,687	52,308	52,348	47,959	48,795	49,747	50,508	51,071	51,911	52,665	52,755	46,656	47,457	48,150
	計		861,384	879,064	894,869	916,767	929,684	952,887	968,443	969,949	961,516	967,216	976,496	985,041	985,370	984,502	990,211	987,331	992,041	997,000

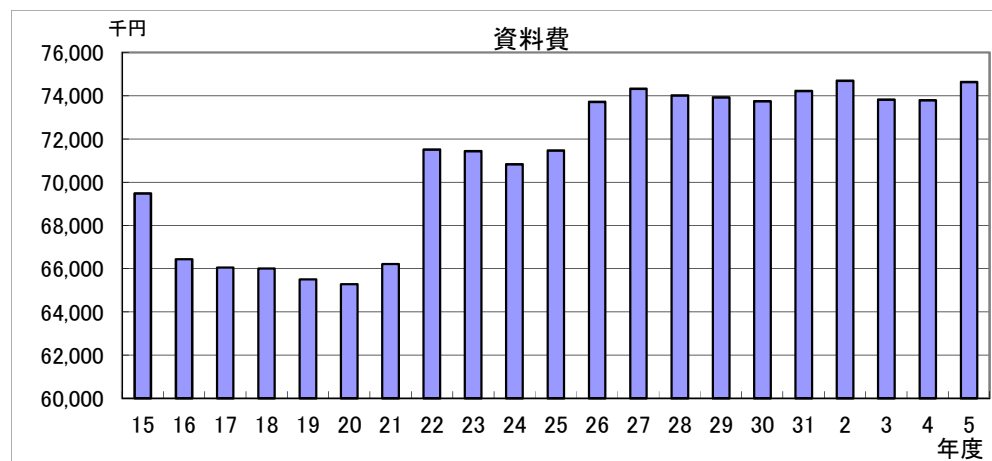
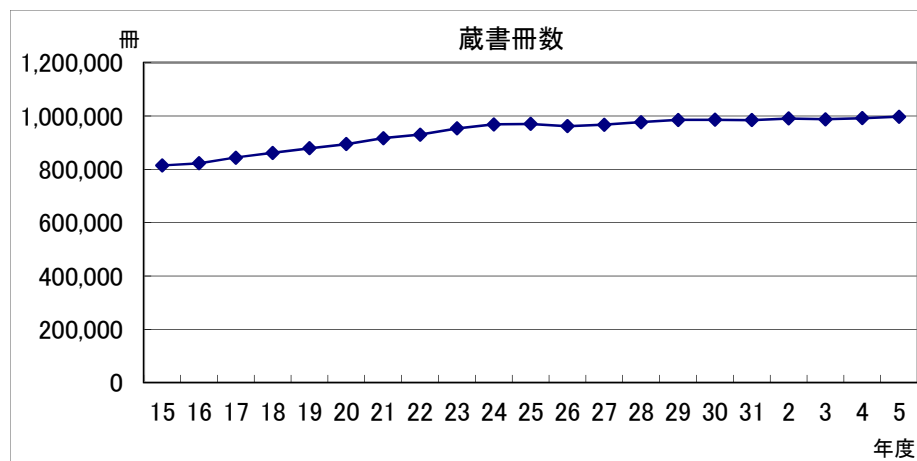
○蔵書数 一般書＝一般図書＋外国語図書＋点字図書＋点字FD＋雑誌 児童＝児童図書＋外国語図書＋点字図書＋点字FD＋さわる絵本・布の絵本＋紙芝居 視聴覚資料＝録音図書＋視聴覚資料



4 年度別利用等の状況 その2

42

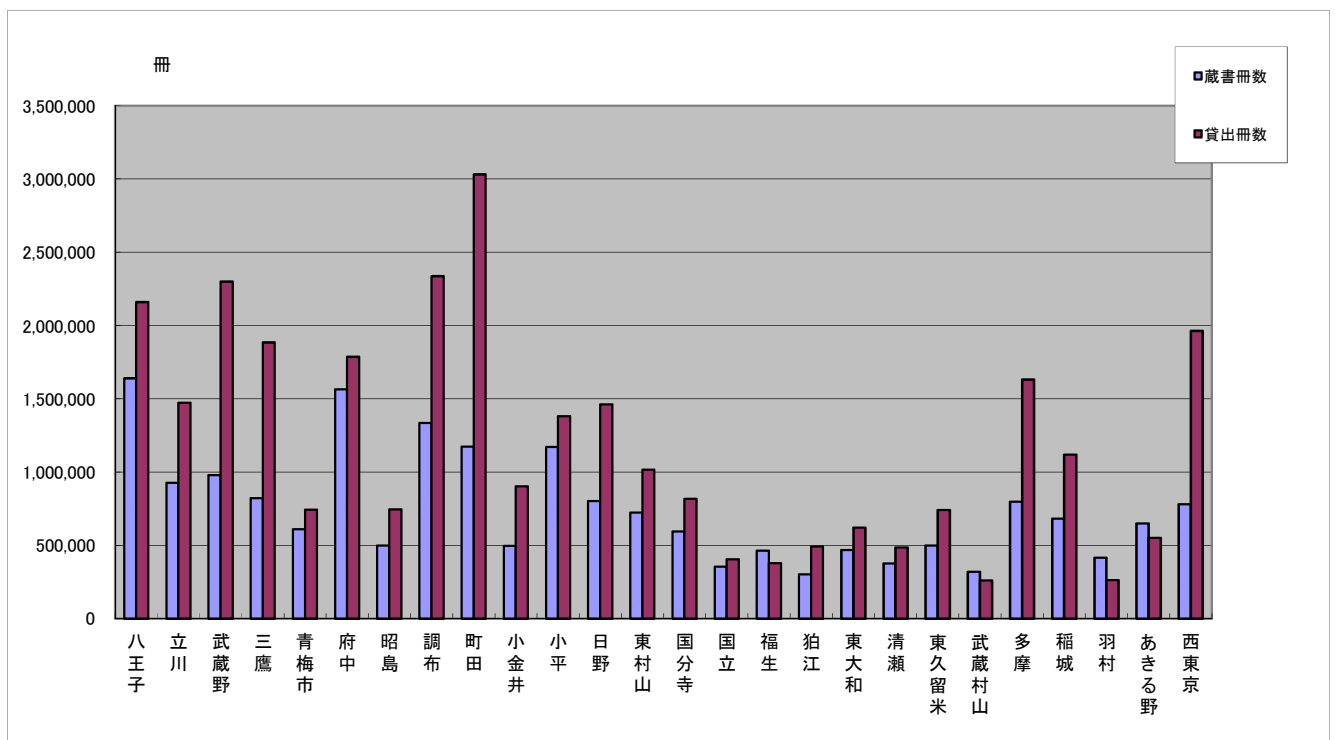
区分 年度	図書館数	人口 (4月1日)	蔵書冊数	貸出冊数	登録者		登録者 一人当り 貸出冊数	蔵書	職 員 数				職員一人当り		資料費(決算)	人口一人当り		
					登録者数	登録者率 %		回 転 率	職 員	会 計 年 度 用 職 員	指 定 管 理 者	計	人口	貸出冊数	千円	貸出冊数	蔵書冊数	図書費 円
		A	B	C	D	D/A	C/D	C/B				E	A/E	C/E	F	C/A	B/A	F/A
15	9	168,450	814,535	1,480,785	76,773	45.6%	19.3	1.8	59	19		78	2,160	18,984	69,483	8.79	4.84	412
16	9	171,142	822,210	1,492,572	87,299	51.0%	17.1	1.8	54	25		79	2,166	18,893	66,437	8.72	4.80	388
17	9	171,919	843,349	1,636,313	86,270	50.2%	19.0	1.9	54	25		79	2,176	20,713	66,038	9.52	4.91	384
18	9	173,307	861,384	1,672,163	84,182	48.6%	19.9	1.9	55	25		80	2,166	20,902	65,998	9.65	4.97	381
19	9	174,989	879,064	1,686,412	78,206	44.7%	21.6	1.9	54	25		79	2,215	21,347	65,502	9.64	5.02	374
20	9	176,326	894,869	1,698,101	71,419	40.5%	23.8	1.9	55	24		79	2,232	21,495	65,275	9.63	5.08	370
21	9	177,526	916,767	1,784,594	76,256	43.0%	23.4	1.9	55	26		81	2,192	22,032	66,203	10.05	5.16	373
22	9	178,048	929,684	1,795,444	75,210	42.2%	23.9	1.9	54	24	18	78	2,283	23,019	71,511	10.08	5.22	402
23	9	178,492	952,887	1,817,588	74,527	41.8%	24.4	1.9	51	21	18	90	1,983	20,195	71,436	10.18	5.34	400
24	9	178,280	968,443	1,808,650	73,417	41.2%	24.6	1.9	51	21	16	88	2,026	20,553	70,826	10.14	5.43	397
25	9	178,127	969,949	1,658,295	72,175	40.5%	23.0	1.7	44	13	45	102	1,746	16,258	71,469	9.31	5.45	401
26	9	178,209	961,516	1,714,272	77,858	43.7%	22.0	1.8	44	13	45	102	1,747	16,807	73,708	9.62	5.40	414
27	9	179,040	967,216	1,763,160	82,561	46.1%	21.4	1.8	33	11	69	113	1,584	15,603	74,316	9.85	5.40	415
28	9	180,277	976,496	1,706,931	81,413	45.2%	21.0	1.7	32	11	76	119	1,515	14,344	74,017	9.47	5.42	411
29	9	182,092	985,041	1,659,128	59,267	32.5%	28.0	1.7	33	12	75	120	1,517	13,826	73,919	9.11	5.41	406
30	9	182,843	985,370	1,676,472	63,823	34.9%	26.3	1.7	33	12	78	123	1,487	13,630	73,750	9.17	5.39	403
31	9	183,923	984,502	1,620,638	64,932	35.3%	25.0	1.6	33	12	74	119	1,546	13,619	74,219	8.81	5.35	404
2	9	184,195	990,221	1,329,193	59,581	32.3%	22.3	1.3	34	12	86	132	1,395	10,070	74,687	7.22	5.38	405
3	9	184,661	987,331	1,562,519	57,921	31.4%	27.0	1.6	34	12	84	130	1,420	12,019	73,824	8.46	5.35	400
4	9	185,201	992,041	1,526,684	57,420	31.0%	26.6	1.5	35	12	80	127	1,458	12,021	73,793	8.24	5.36	398
5	9	185,737	997,000	1,478,098	55,438	29.8%	26.7	1.5	33	13	78	124	1,498	11,920	74,628	7.96	5.37	402



5 多摩地区26市市立図書館状況(令和6（2024）年4月1日現在・令和5（2023）年度実績)

市 名	人 口	面 積 km	館 数	蔵 書 冊 数	貸 出 冊 数	図 書 館 費	資 料 費	職 員 数 (R6年4月1日現在)		
				(図書のみ) 冊	冊	(R6予算) 千円	(R6予算) 千円	正 規	非 常 勤	臨 時
八 王 子	561,034	186.38	9	1,639,529	2,159,526	1,625,218	70,470	36	84.0	57.0
立 川	185,552	24.36	9	928,100	1,474,461	761,995	89,081	30	16.2	9.0
武 蔵 野	148,196	10.98	3	980,571	2,300,368	616,638	91,246	16	32.0	3.4
三 鷹	190,173	16.42	5	823,445	1,883,698	408,161	73,727	27	24.5	6.2
青 梅	129,918	103.31	10	611,699	743,372	336,513	43,778	0	0	0
府 中	259,572	29.43	13	1,566,614	1,785,923	831,750	104,539	21	19.0	78.0
昭 島	114,279	17.34	4	500,316	746,185	167,306	40,432	0	0	0
調 布	238,952	21.58	11	1,335,291	2,335,904	895,554	86,106	62	121.5	0
町 田	431,018	71.55	8	1,173,902	3,031,904	675,462	51,703	48	99.5	8.0
小 金 井	124,713	11.30	4	497,823	904,683	156,735	46,311	10	19.0	0.6
小 平	196,543	20.51	11	1,173,246	1,382,919	941,450	51,491	40	53.0	0
日 野	187,180	27.55	7	803,496	1,463,705	218,484	64,972	23	49.0	0.0
東 村 山	151,598	17.14	5	725,493	1,017,755	243,287	42,635	28	33.8	4.6
国 分 寺	128,691	11.46	6	595,370	818,625	180,817	24,965	11	17.2	4.8
国 立	76,182	8.15	2	355,851	404,827	185,576	27,882	10	25.6	0.1
福 生	56,055	10.16	4	464,118	379,455	166,648	26,214	15	20.1	0.0
狛 江	82,723	6.39	1	303,050	493,912	127,416	21,136	6	13.1	0
東 大 和	84,920	13.42	3	468,566	621,655	254,207	32,384	9	6.0	14.0
清 瀬	74,590	10.23	6	377,317	485,529	208,064	21,914	11	28.8	6.8
東 久 留 米	116,760	12.88	4	500,481	742,612	414,878	45,232	6	6.9	0.0
武 蔵 村 山	71,236	15.32	2	320,297	260,737	102,680	16,485	8	22.1	0
多 摩	148,107	21.01	8	799,651	1,631,364	409,040	59,116	32	40.0	24.6
稲 城	93,486	17.97	6	683,082	1,119,148	265,507	38,248	5	13.2	7.8
羽 村	54,386	9.90	1	416,499	263,037	95,618	12,716	7	9.1	12.2
あ き る 野	79,648	73.47	4	649,580	551,874	216,804	36,304	15	15.0	13.5
西 東 京	205,943	15.75	6	781,891	1,963,302	549,016	77,860	28	43.5	0

令和6年度東京都公立図書館調査(令和6年9月東京都立図書館HPより)



数値から見た立川市図書館 令和5（2023）年版 ～貸出密度から～

・ 要旨

立川市と同規模自治体の貸出密度※¹を比較した結果、立川市は約 50 市中、常にベストプラクティス※²として評価されており、今後も引き続き上位を維持できるよう利用者サービスに努めていく。

※¹ 貸出密度：住民一人当たりの貸出資料数

※² ベストプラクティス：評価する際の最も効率的・効果的な技法。ここでは人口が同規模（15 万人～20 万人）の自治体の貸出密度上位の自治体

・ 用いたデータは「日本の図書館 統計と名簿」2011～2023 日本図書館協会から出典

表1 人口 15 万人以上 20 万人未満の公共図書館貸出密度順位

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1位	ベスト プラクティス (優秀事例)	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	浦安市	安城市	安城市	安城市	三鷹市	三鷹市
2位		西東京市	西東京市	西東京市	西東京市	西東京市	西東京市	西東京市	浦安市	立川市	浦安市	安城市	安城市
3位		安城市	安城市	安城市	安城市	立川市	立川市	安城市	立川市	三鷹市	三鷹市	浦安市	立川市
4位		立川市	立川市	立川市	立川市	安城市	日野市	立川市	三鷹市	日野市	立川市	立川市	浦安市
5位		日野市	日野市	日野市	日野市	日野市	三鷹市	三鷹市	日野市	浦安市	日野市	小牧市	中央区
6位		佐倉市	佐倉市	佐倉市	三鷹市	小平市	安城市	日野市	小平市	宇部市	山口市	日野市	日野市
7位		三鷹市	鎌倉市	小平市	佐倉市	三鷹市	小平市	小平市	刈谷市	刈谷市	東広島市	刈谷市	鎌倉市
8位		鎌倉市	小平市	鎌倉市	小平市	佐倉市	佐倉市	鎌倉市	鎌倉市	小平市	鎌倉市	鎌倉市	小平市
9位		磐田市	磐田市	三鷹市	鎌倉市	鎌倉市	鎌倉市	刈谷市	佐倉市	鎌倉市	出雲市	小平市	小牧市
10位		小平市	三鷹市	日田市	磐田市	磐田市	山口市	佐倉市	宇部市	東広島市	東村山市	佐倉市	山口市
対象市区		49市区	48市区	48市区	47市区	49市区	47市区	49市区	52市区	51市区	50市区	51市区	49市区

6 令和4（2022）年度立川市図書館 利用者アンケート調査の結果について

立川市図書館では、令和7（2025）年度に図書館サービスの指針となるべき、第4次図書館基本計画の策定を予定していますが、利用者ニーズを把握するために、来館者にアンケート調査を実施しました。

多くの方のご協力をいただいたアンケート調査結果について、次の通り概要がまとまりましたのでお知らせします。

- | | |
|---------|---|
| 1. 実施期間 | 【中央】立川市図書館利用者アンケート
令和5（2023）年2月21日（火）～3月21日（火）

【柴崎・上砂・多摩川】利用者満足度調査
令和4（2022）年11月6日（日）～11月19日（土）

【幸・西砂・高松・錦・若葉】利用者満足度調査
令和4（2022）年10月1日（土）～10月14日（金） |
| 2. 調査対象 | 利用者全体 |
| 3. 調査方式 | 回答者自身が内容を記入する自記式アンケート
・各図書館のカウンター等で配布し、記入後に利用者が館内の回収箱またはブックポストに投函 |
| 4. 回収数 | 全館合計1,673部（詳細下表） |
| 5. 集計結果 | 別紙の通り |

〔館別アンケート回収数〕

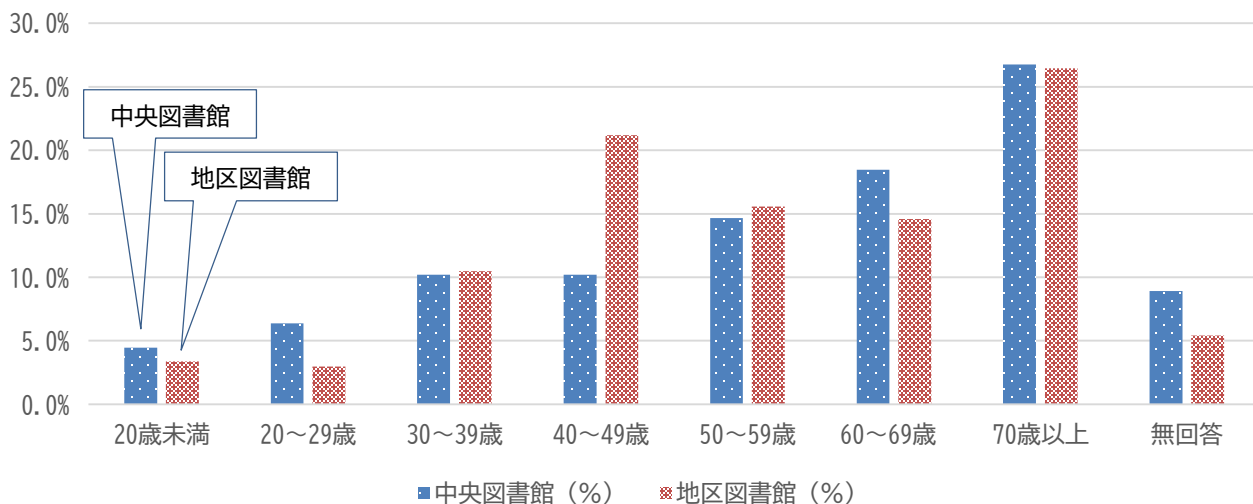
中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	合計
157	115	185	170	257	89	176	252	272	1,673

1. 回答者特性

回答者の年齢割合

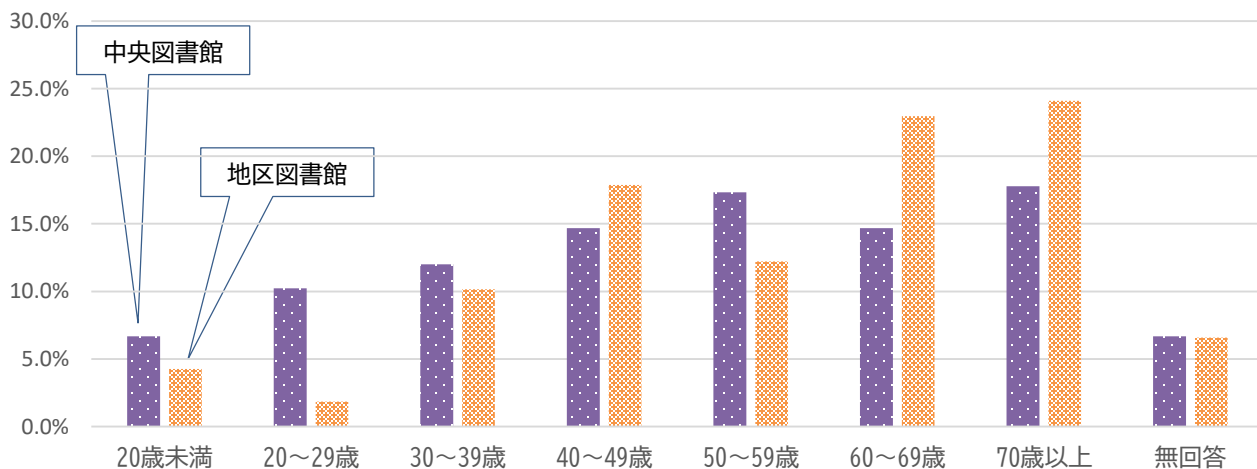
地区図書館は40～70歳代の回答割合が高いことが分かります。

中央図書館では全年代まんべんなく来館されていますがアンケートに回答していただく年齢層は高い傾向になります。



	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
中央図書館	7	10	16	16	23	29	42	14
	4.5%	6.4%	10.2%	10.2%	14.6%	18.5%	26.8%	8.9%
地区図書館	51	45	159	321	236	221	401	82
	3.4%	3.0%	10.5%	21.2%	15.6%	14.6%	26.5%	5.4%

(参考) 平成29 (2017) 年度



回答者の住所

各館で多かった回答者の住所地は次の通りです。

若葉では第2順位が5年前は幸町でしたが令和4（2022）年度は市外（相互利用市）でした。

	第1順位		第2順位	
中央図書館	市外（相互利用市）	18人 (11.5%)	曙町・栄町	同数16人 (10.2%)
柴崎図書館	柴崎町	55人 (47.8%)	富士見町	28人 (24.3%)
上砂図書館	砂川町	80人 (43.2%)	上砂町	49人 (26.5%)
幸図書館	幸町	64人 (37.6%)	柏町	51人 (30.0%)
西砂図書館	一番町	100人 (38.9%)	西砂町	86人 (33.5%)
多摩川図書館	富士見町	71人 (79.8%)	市外（相互利用市）	8人 (9.0%)
高松図書館	高松町	57人 (32.4%)	栄町	46人 (26.1%)
錦図書館	錦町	177人 (70.2%)	羽衣町	29人 (11.5%)
若葉図書館	若葉町	145人 (53.3%)	市外（相互利用市）	53人 (19.5%)

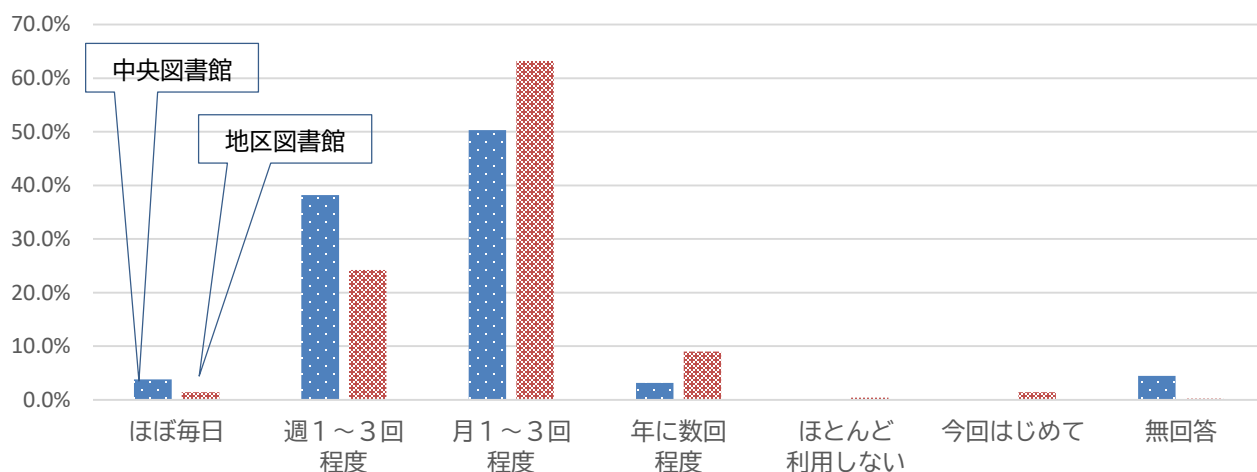
（参考平成29（2017）年度）

	第一順位		第二順位	
中央図書館	市外＜相互利用市＞	47人 (21.8%)	曙町	24人 (11.1%)
柴崎図書館	柴崎町	31人 (51.7%)	富士見町	15人 (25%)
上砂図書館	上砂町	44人 (41.9%)	砂川町	32人 (30.5%)
幸図書館	柏町	37人 (40.2%)	幸町	35人 (38.0%)
西砂図書館	一番町	70人 (50.4%)	西砂町	44人 (31.7%)
多摩川図書館	富士見町	53人 (88.3%)	市外（相互利用市）	5人 (8.3%)
高松図書館	高松町	57人 (39.9%)	栄町	37人 (25.9%)
錦図書館	錦町	99人 (57.3%)	羽衣町	22人 (15.0%)
若葉図書館	若葉町	68人 (75.6%)	幸町	10人 (11.1%)

図書館の利用頻度について

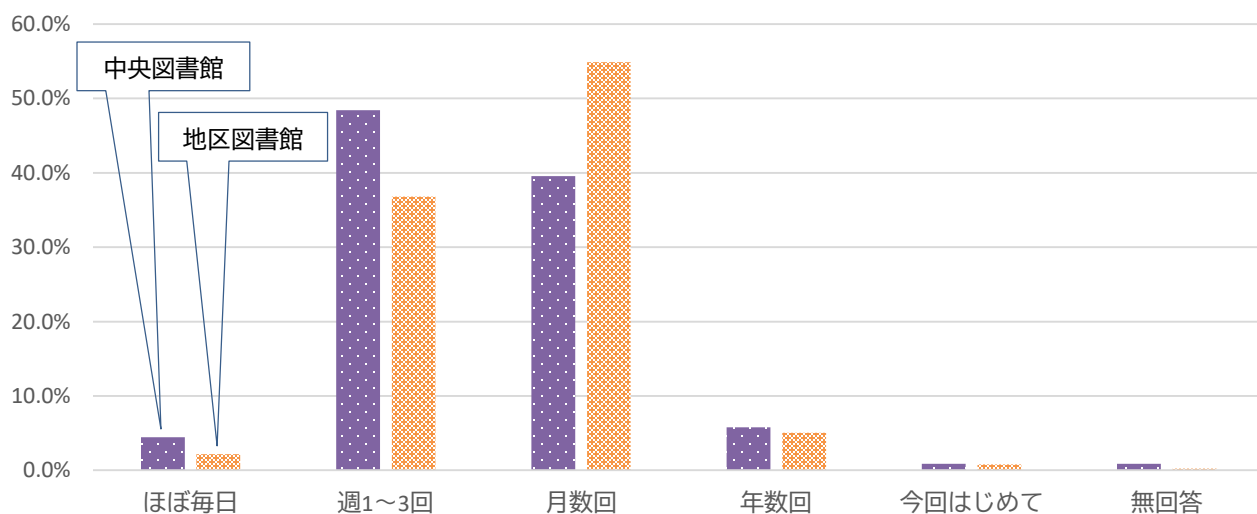
中央図書館、地区図書館共に「月に1～3回程度の利用」が1番多く、2番目の「週1～3回程度の利用」を合わせると87%を超えています。

中央図書館では前回アンケート実施時と比べて利用頻度が下がっています。コロナ禍において来館を控える傾向にあったと推察されます。



	ほぼ毎日	週1～3回程度	月1～3回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない	今回はじめて	無回答	合計
中央図書館	6 3.8%	60 38.2%	79 50.3%	5 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.5%	157 100.0%
地区図書館	22 1.5%	367 24.2%	958 63.2%	137 9.0%	6 0.4%	22 1.5%	4 0.3%	1,516 100.0%

(参考平成29 (2017) 年度)

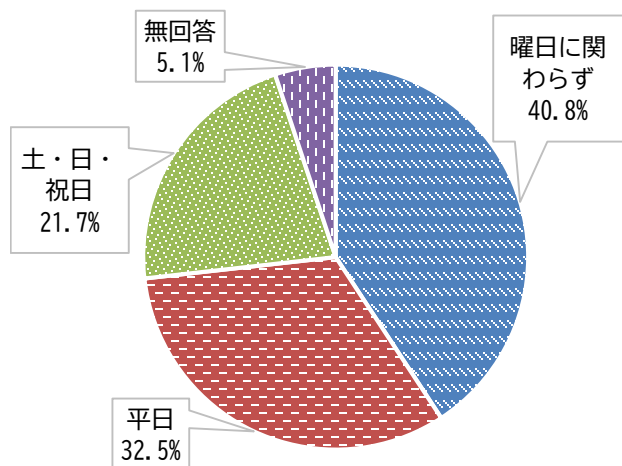


図書館の利用日・時間帯（中央図書館）

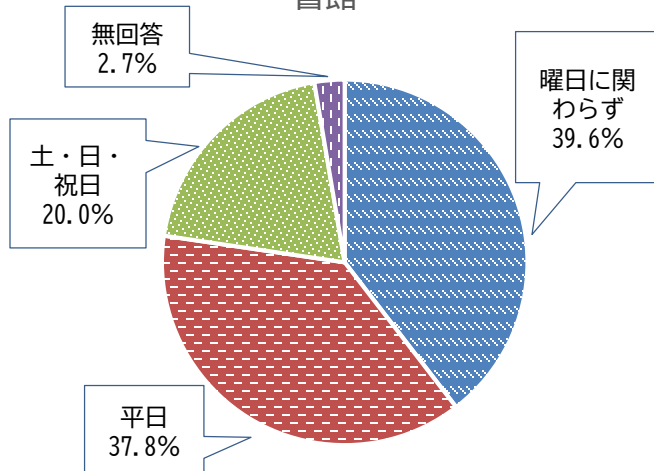
この設問は令和4年度は中央図書館だけで行いました。
利用する曜日別の構成はほぼ同じでした。

よく利用する曜日は

令和4（2022）年度

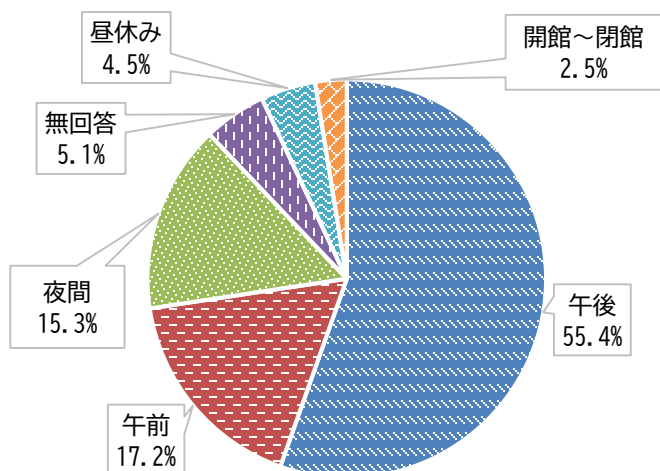


（参考）平成29（2017）年度中央図書館

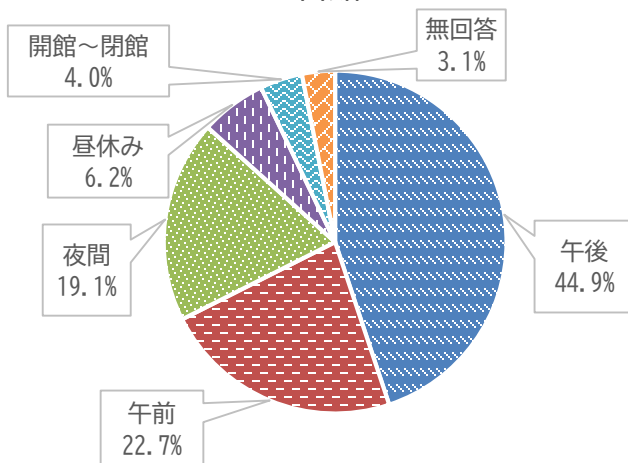


よく利用する時間帯は

令和4（2022）年度



（参考）平成29（2017）年度中央図書館



図書館の休館日数（中央図書館）

中央図書館は毎週月曜日と第三木曜日が休館日になっており、地区図書館の第2・4月曜日の休館日と比べると、ひと月に3日程度多い状況です。

○中央図書館の休館日数についてお尋ねします

	令和4年度	（参考）平成29年度
1. 今まで通りでよい	70.7%	64.9%
2. 不便を感じている	23.6%	28.0%
3. 無回答	5.7%	7.1%

図書館の開館時間・閉館時間（中央図書館）

中央図書館の開館時間・閉館時間は概ね現状通りでよいと判断するものの、土日祝日の閉館時間の延長については一定割合要望があることがわかります。

○中央図書館の開館時間・閉館時間について、最も希望するものはどれですか

	令和4年度	（参考）平成29年度
今まで通りでよい	45.2%	34.2%
土日祝日の閉館を遅くしてほしい	24.8%	28.4%
平日の開館を早くしてほしい	9.6%	12.9%
無回答	8.9%	6.7%
土日祝日の開館を早くしてほしい	7.0%	6.7%
平日の閉館を遅くしてほしい	4.5%	11.1%

分析

【アンケート方法】

令和4年度のアンケートは指定管理者（株式会社 ヴィアックス及び株式会社 図書館流通センター）が毎年度行っている「利用者満足度調査」と中央図書館が行った「立川市図書館利用者アンケート」の結果を集計し分析を行いました。

平成29年度実施したアンケートの回収数1,120件であったのに比べ今回の回収数は1,673件と約1.5倍の回答をいただきました。利用者の声を第4次図書館基本計画に適切に反映してまいります。

【回答者の分析】

「回答者の年齢割合」

60～69歳、70歳以上の割合合計が中央図書館では45%を超え、地区図書館でも40%を超えています。実際、令和4年度図書館利用者の貸出者数は下表で30歳代以下は少ないものの、一定数の利用者はいますので、次回はアンケートの集計方法を工夫していきたいと考えています。

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
貸出者数 (人)	56,865	42,894	24,788	58,629	105,819	95,664	79,084	103,674	567,417
割 合	10.0%	7.6%	4.4%	10.3%	18.6%	16.9%	13.9%	18.3%	100.0%

「回答者の住所」

中央図書館では相互利用の協定を結んでいる市の利用者が多く、地区図書館では周辺に居住する利用者が多いことが分かります。中央図書館は駅前の商業施設の一角にありますので、立川市民だけでなく他市からも多くの利用者が来館し、本市のにぎわいの創出に貢献しています。

「図書館の利用日・時間帯（中央図書館）」

よく利用する日は、「曜日に関わらず」、「平日」、「土・日・祝日」の3区分がそれぞれの利用者のライフスタイルに合わせて利用していると考えられます。また、よく利用する時間帯については、より外出する傾向が高くなる午後の時間帯の利用が多いことが分かります。

「図書館の休館日数（中央図書館）」

月の休館数が地区館に比べ中央図書館が約3日多い状況の中で、休館日数及び開館・閉館時間について「今まで通りでよい」という割合が一番多く、現状で多くの利用者の要望を満たしていると言えます。

「図書館の開館時間・閉館時間（中央図書館）」

中央図書館の開館時間・閉館時間は5年前より、「今まで通りでよい」が11ポイント増えています。ただ次の「土日祝日の閉館時間の延長」については一定割合要望があることがわかります。

2. 図書館の資料・サービスについて

利用者の満足度について

5つの項目について利用者の満足度を集計しました。

「とても満足」・「まあ満足」・「ふつう」・「やや不満」・「とても不満」の5段階で評価しています。

下表の割合は「とても満足」と「まあ満足」を合わせた数値になります。（無回答除く）

④、⑤の質問項目で地区図書館の満足度が高いことは、スタッフと利用者が日頃から「顔の見える」形で対応しており安心感が得られている証と言えます。

①館内や本棚の案内表示のわかりやすさ

中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
65.8%	68%	67%	64.1%	70.1%	62%	71.3%	74.7%	66.3%	67.7%

②所蔵している資料（本・雑誌・CD等）の内容、分野構成

中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
69.2%	50%	57%	38.0%	53.4%	53%	47.7%	52.4%	46.3%	51.9%

③企画展示、各種特集コーナーの内容

中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
55.5%	59%	69%	55.2%	65.3%	55%	54.7%	62.8%	57.7%	59.4%

④スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応の速さ・的確さ

中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
63.7%	93%	90%	85.8%	89.4%	82%	88.6%	88.5%	81.5%	84.7%

⑤調べものの相談やご案内などでのスタッフの説明のわかりやすさ

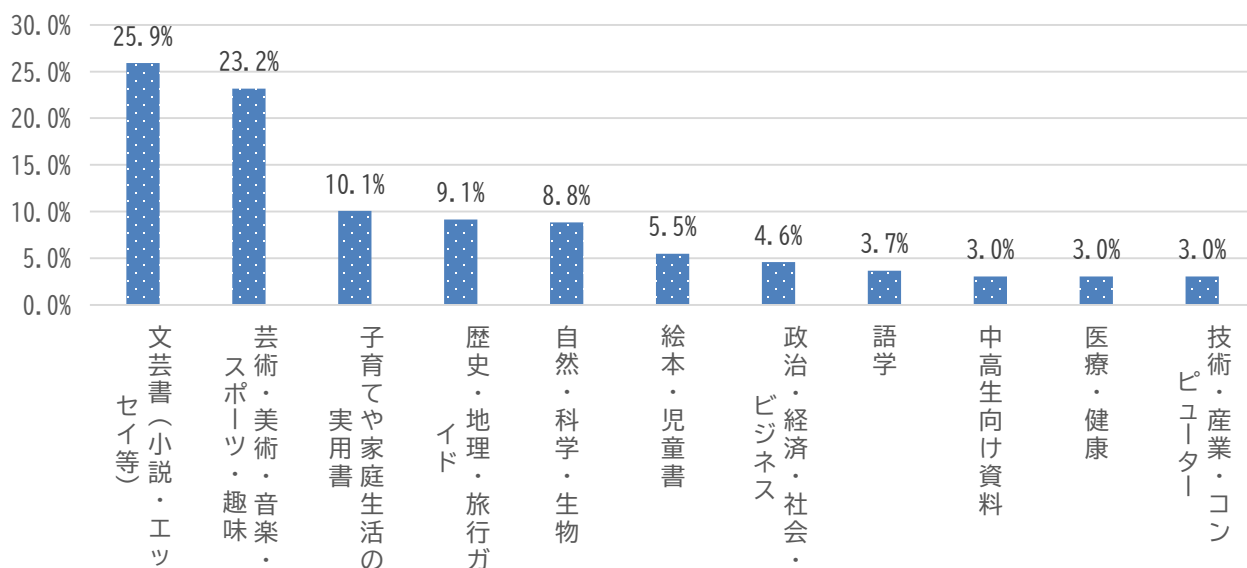
中央	柴崎	上砂	幸	西砂	多摩川	高松	錦	若葉	平均
56.2%	79%	81%	77.1%	81.0%	76%	78.5%	77.1%	73.5%	75.5%

充実してほしい資料・情報（複数回答）

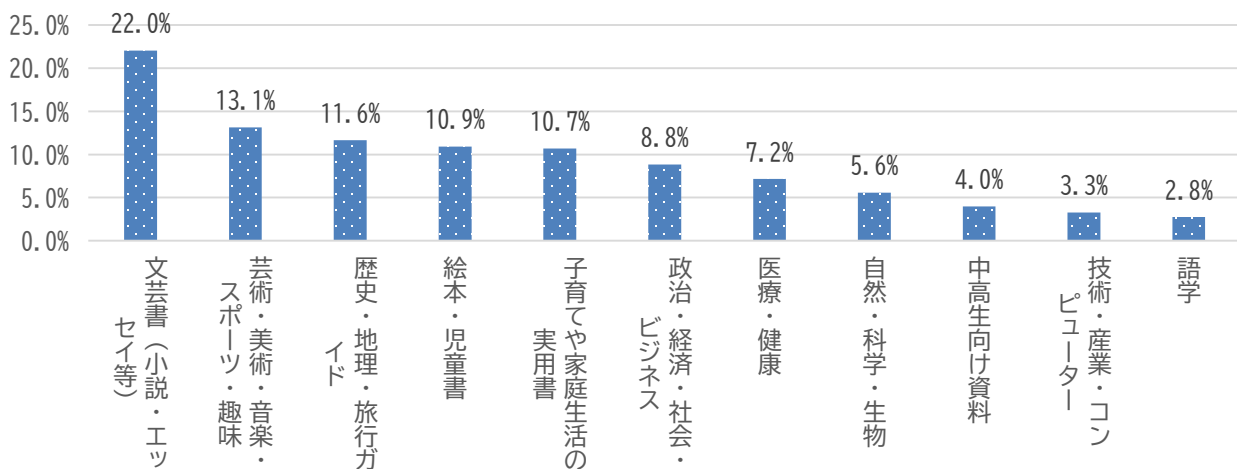
中央図書館・地区図書館共に「文芸書」、続いて「芸術・美術等」を充実してほしい要望があります。

図書館資料は【立川市図書館資料収集基本方針】に基づき収集しますが、様々な要望を考慮しつつ各館の特色を活かした蔵書構成を目指していきます。

中央図書館



地区図書館



資料形態別充実の要望（中央図書館）

種類	(人)	種類	(人)
DVD	28	音楽配信サービス	7
CD	25	インターネットによる情報提供	5
雑誌	25	外国語資料	4
電子書籍	20	大活字本	2
新聞	10	点字・録音図書	1

その他の回答（原文のまま記載）

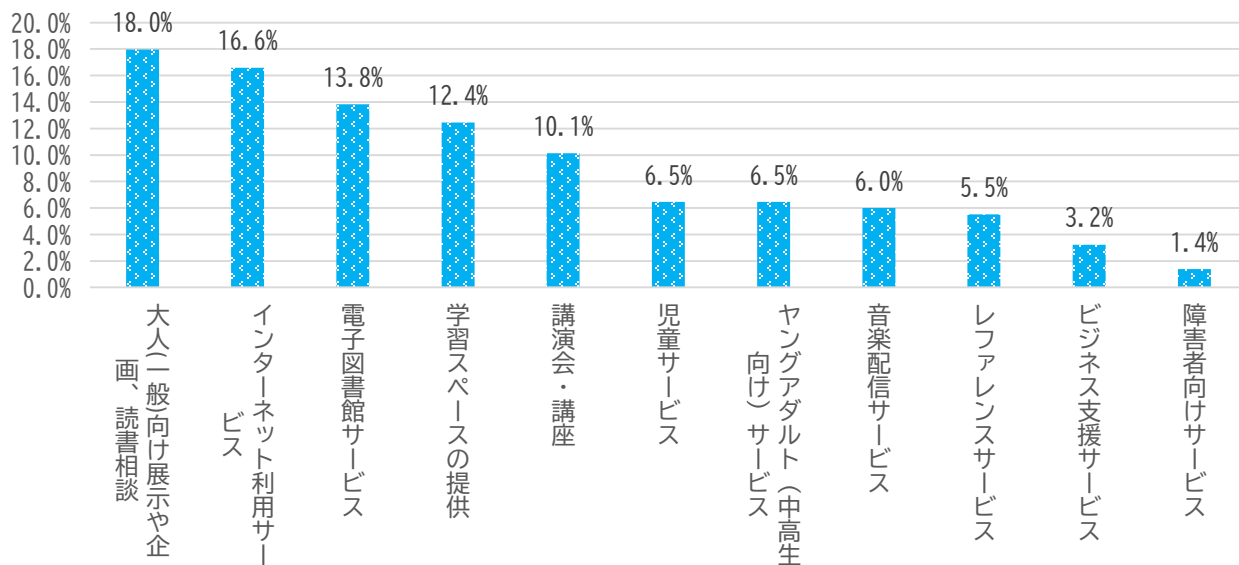
- ・今まで通りでよい
- ・充実している
- ・図鑑
- ・広島県の中国新聞を入れてほしいです
- ・精神、心理系の専門雑誌
- ・特にない
- ・小学生向け
- ・赤ちゃんむけDVD
- ・ラノベ
- ・ジェンダー、フェミニズム関連書籍
- ・漫画
- ・新刊

充実してほしいサービスについて（複数回答）

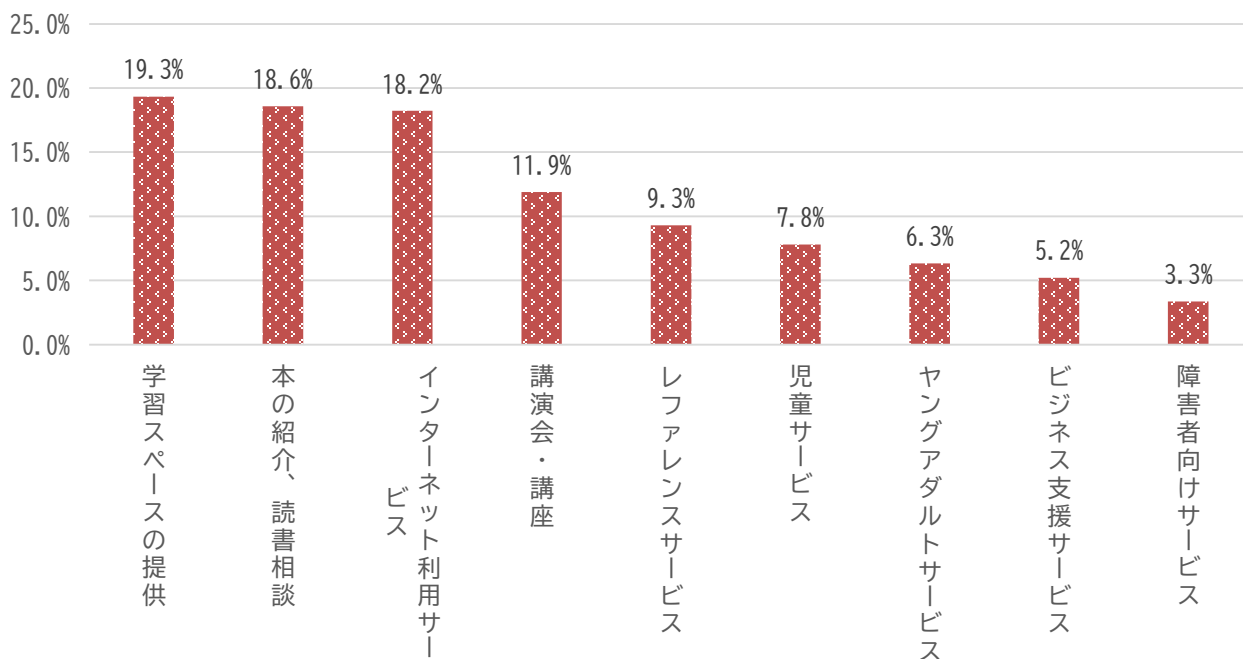
この質問項目では中央図書館でのみ行っているサービスがあることから中央図書館と地区図書館の選択肢が異なります。

中央図書館と地区図書館ともに「大人(一般)向け展示や企画、読書相談」の充実を求めていることが分かります。

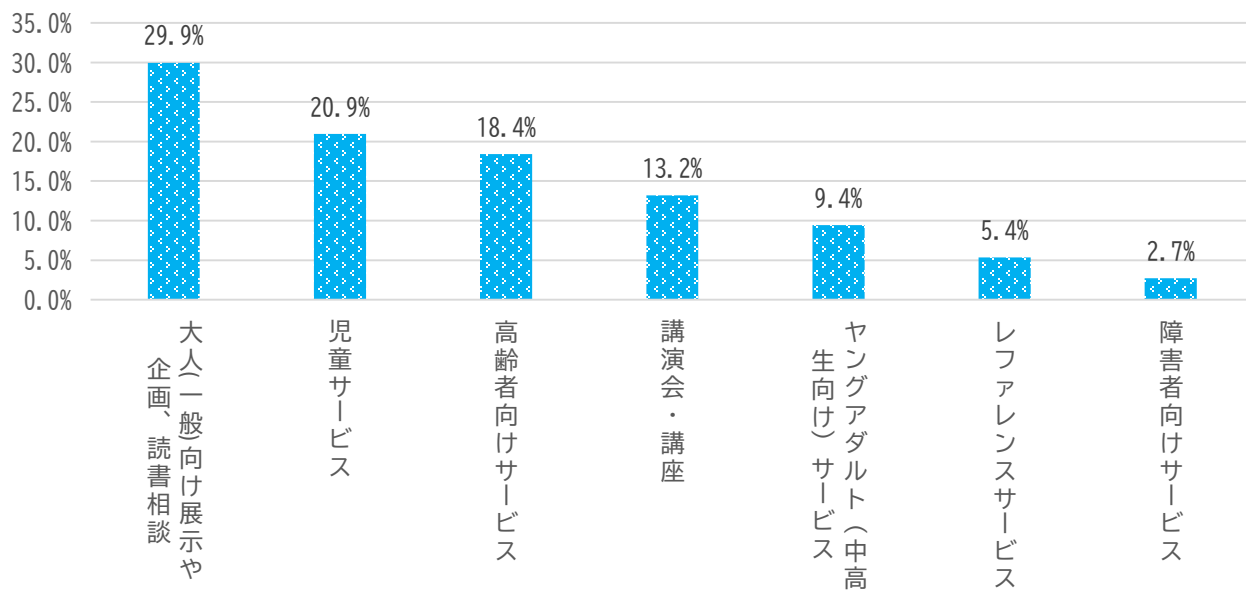
中央図書館 （全217件）



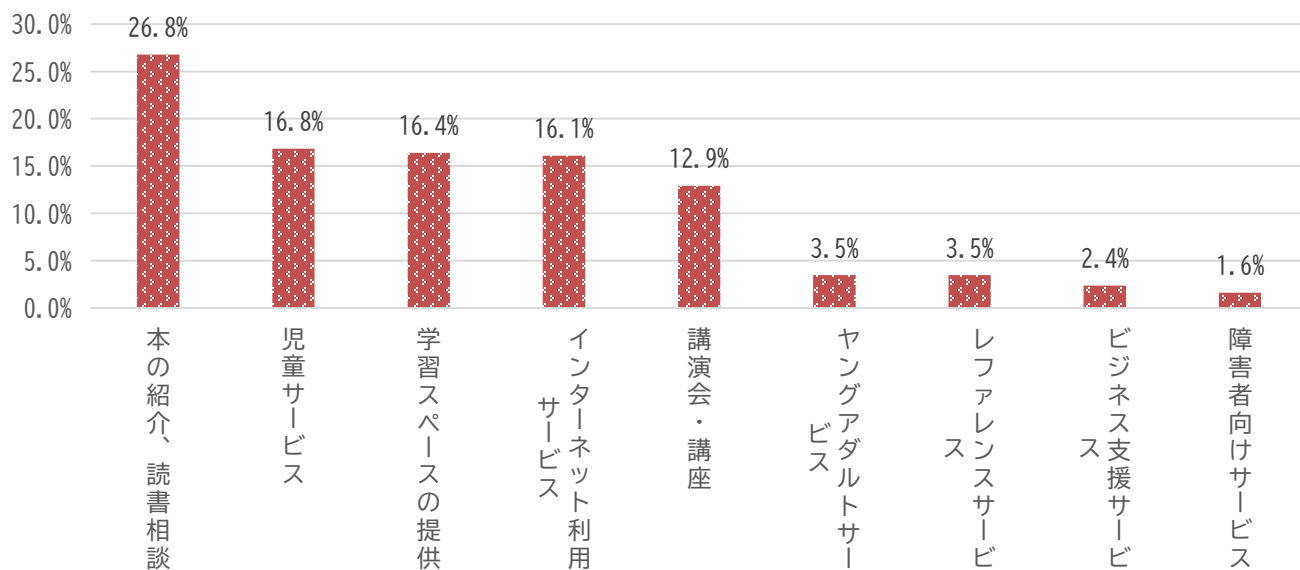
(参考) 平成29 (2017) 年度 （269件）



地区図書館 (全1,547件)



(参考) 平成29 (2017) 年度 地区館 (975件)



その他の回答 (原文のまま記載)	
・なし	・マンガなどもあると良い
・専門図書の充実	・特にない
・おはなし会	・雑誌の追加
・喫茶所を作ってほしいです	・CD数増して欲しい
・洋書の紹介	・特にありません
・DVD	・CD等貸し出し
・CDライブラリの充実	

分析

【利用者の満足度について】

①館内や本棚の案内表示のわかりやすさ

複雑な配置を出来るだけ避けて、案内表示や見出しを大きく出し、利用者が少しでも資料を見つけやすいように各館で工夫して行っています。

②所蔵している資料（本・雑誌・CD等）の内容、分野構成

各館の規模によるところが大きいです。中央図書館と地区図書館を比べても蔵書構成、所蔵数の違いで満足度に違いが生じます。

③企画展示、各種特集コーナーの内容

利用者の関心の高いものや、タイムリーな時事関連情報を多く取り上げているものの、利用者の趣味嗜好は千差万別であり、割合数値を持って評価することは難しいと考えます。

④スタッフのカウンターや電話での接客態度、対応の速さ・的確さ

全体的に8割以上の利用者が図書館職員の対応に満足しているものの立川市図書館の統括館という点で、中央図書館の職員には多種・多様な要望に応じていくことが求められていることから、より一層スキルアップが望まれます。

⑤調べもの相談やご案内などでのスタッフの説明のわかりやすさ

親切・丁寧な対応を心掛けており、7割以上の利用者が図書館職員の対応に満足しているものの中央図書館の利用目的が「本を借りる」以外に「調べ物」や、「学習」、「読書」など多岐にわたっており、利用者が求めるニーズへ必ずしも対応しきれないことから評価が低くなる傾向は否めません。

【充実してほしい資料・情報（複数回答）】

中央図書館・地区図書館共に「文芸書（小説・エッセイ等）」がトップで、次に「芸術・美術・音楽・スポーツ・趣味」が続きます。図書館の選書基準を遵守しながら利用者の要望を取り入れていきます。

また、中央図書館で形態別充実の要望では視聴覚資料（DVD・CD）や雑誌に続き電子書籍の充実があがっています。書籍を除く形態別の資料の要望も多様化しています。

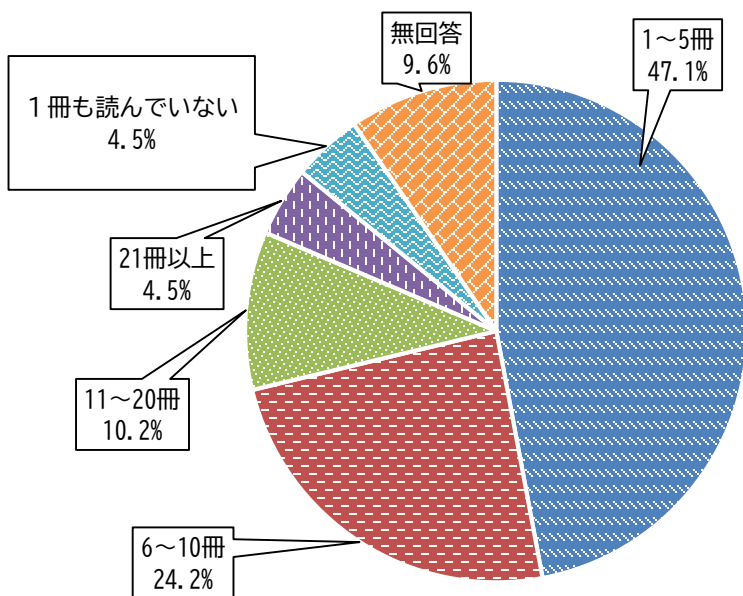
【充実してほしいサービスについて（複数回答）】

中央図書館・地区図書館共に「大人（一般）向け展示や企画、読書相談」でした。これからも、利用者が興味を持つような視点で実施回数や展示・企画内容の充実を図っていきます。また、電子図書館サービスについては、子ども読書に関する書籍とともに、一般書籍も充実を図るよう全年代を対象とした蔵書構成に努めていきます。

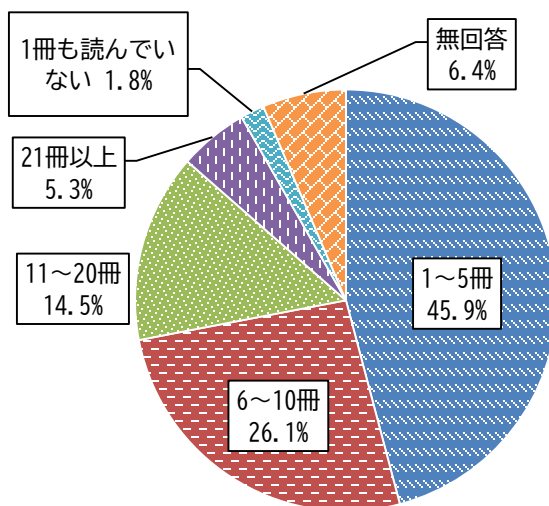
3. 読書習慣について（中央図書館）

直近 1 ヶ月間の本・電子書籍（マンガを除く）

図書館利用者へのアンケートということもあり不読者率は非常に低く、「1冊でも本を読んだ人」は86%でした。

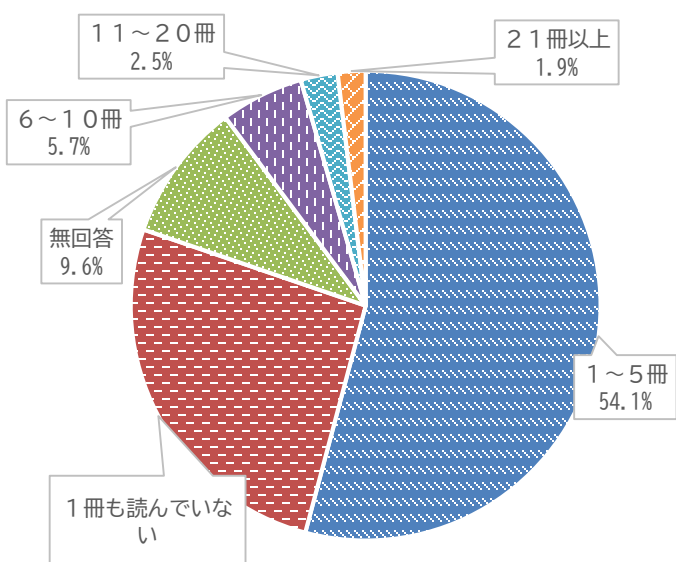


（参考）平成29年度 全館



直近 1 ヶ月間の雑誌（マンガを除く）

回答者の過半数が雑誌を読んでいる一方で1冊も読んでいない方が25%を超えています。



主に読んでいる雑誌名を教えてください（一部抜粋）

- ・モノクロ
- ・ファッション系のものです
- ・AERA
- ・ラグビーマガジン
- ・文春、新潮、文芸春秋など
- ・PRESIDENT
- ・ミュージックマガジン、月刊新潮
- ・Newton、理科教室、ナショナルジオグラフィック
- ・高齢者向けの内容のある雑誌
- ・Tarzan、anan、ESSE
- ・ミュージックマガジン
- ・きょうの健康、登山に関する物
- ・週刊文春
- ・保育者向け雑誌 PriPri、Piccolo など
- ・MOE

子どもの読書習慣を育むには何が必要だと思いますか （複数回答）

「その他」を除けば「家庭での読書の習慣」が少し高い結果となっていますが、それ以外の項目もさほど差はなく、様々なアプローチから子どもの読書習慣のきっかけにつながると考えています。

回 答	(人)	(割合)
家庭での読書の習慣	100	26.5%
身近な大人の働きかけ	71	18.8%
学校図書館の充実	53	14.0%
市立図書館の充実	53	14.0%
小学校・中学校での働きかけ	52	13.8%
保育園・幼稚園での働きかけ	39	10.3%
その他	10	2.6%

その他の回答 （原文のまま記載）

- ・親が読書する姿を見せること。
- ・学校での図書館の使い方の指導
- ・小中学校と図書館の連携（授業での自由課題を図書館でしらべさせるとか）
- ・ネット社会で読書はなれや、相次ぐ書店の閉店に不安を感じる。
- ・読書している人を見かける頻度
- ・まず大人が本を読むことはどういう事かを理解していないと厳しいと思う。
- ・子どもだけでなく少しでも多くの大人が本を読む習慣を身につける。（手本を示す）
- ・本による話題を作る。
- ・図書館を利用している大人の質が悪いと行きたくなくなる→本から遠ざかる。
- ・一人でも安心して図書館に入れるように防犯面を充実させる。（防犯カメラ設置や犯罪抑止につながるポスターなどをはりまくる）
- ・禁書を作る。あるいは、読書禁止を宣告する。すると子供は隠れて読むという読書のあるべきスタートラインに立てる（かもしれない）。生はんかな方策では、子どもを読書にむかわせることは難しいかも。読書は本当に必要かという点も含めて「バップンテキ」に考えた方がいいような気がする。
- ・子どもの興味にそった本がまわりにあるかどうか。

分析

【直近 1 ヶ月間の本・電子書籍の読書量（マンガを除く）】

図書館利用者にアンケートの回答をいただいたということもあり不読者率は非常に低く、「1冊でも本を読んだ人」は86%でした。

【直近 1 ヶ月間の雑誌の読書量（マンガを除く）】

雑誌を「1冊でも読んだ人」は64.3%で本・電子書籍の割合と比較し21.7%低い値となっています。雑誌も廃刊・休刊が多くなり、今後の動向が注視される中、利用者ニーズを的確にとらえ、効果的な選書に取り組む必要があります。

【子どもの読書習慣を育むには何が必要だと思いますか（複数回答）】

この質問にはより多くの複数回答を寄せていただきました。家庭や学校が子どもの読書習慣づくりに重要な役割を果たすことが伺えます。活字離れが叫ばれる中、図書館としても子ども読書活動に力を入れ、積極的にかかわっていくことが求められています。

「その他」の回答は原文のまま載せました。様々な考えのもと、子どもに読書の習慣の大切さを伝えたいと考えていることが分かります。

7 計画策定体制・経過

(1) 利用者アンケート調査の実施

【中央】立川市図書館利用者アンケート

令和5年(2023)年2月21日(水)～3月21日(日)実施

【柴崎・上砂・多摩川】利用者満足度調査

令和4(2022)年11月6日(日)～11月19日(土)実施

【幸・西砂・高松・錦・若葉】利用者満足度調査

令和4(2022)年10月1日(土)～10月14日(金)

回収数：1,673件(中央図書館 157件・地区図書館 1,516件)

(2) 教育委員会での報告・協議

令和6(2024)年1月26日(金) 第4次図書館基本計画の策定方針について

令和6(2024)年11月12日(木) 第4次図書館基本計画(骨子案)について

令和7(2025)年1月9日(木) 第4次図書館基本計画(素案の案)について

令和7(2025)年3月25日(火) 第4次図書館基本計画(素案)について

令和7(2025)年5月26日(月) 第4次図書館基本計画(原案)について

令和7(2025)年6月27日(金) 第4次図書館基本計画(案)について

(3) 図書館協議会での検討

① 構成 第24期 図書館協議会委員一覧

(任期：令和6(2024)年7月1日～令和8(2026)年6月30日)

区分	職名	氏名	所属団体等
学識経験者	会長	野口 武悟	専修大学文学部教授
	副会長	伊藤 民雄	実践女子大学図書館勤務
学校教育関係者	委員	田中 義典	立川市立柏小学校校長
	委員	山口 聡	立川市立立川第二中学校校長 (立川市立中学校長会会長)
	委員	野和田 周介	学校法人野和田学園理事長
社会教育関係者	委員	本木 晴行	立川市文化協会副会長
	委員	森田 正子	立川市地域文庫連絡会役員
	委員	三浦 裕美子	立川市朗読サークル「こえ」元会長
家庭教育関係者	委員	榎本 典子	元たちママ探検隊代表
学識経験者	委員	清水 啓文	立川市シルバー人材センター
市民公募	委員	菅澤 直哉	公募市民
	委員	太田 貴子	公募市民

② 開催状況

令和6（2024）年7月19日（金） 第4次図書館基本計画の施策体系・取組項目について
 令和6（2024）年10月18日（金） 第4次図書館基本計画（骨子案、素案概略）について
 令和7（2025）年1月17日（金） 第4次図書館基本計画（素案の案）について
 令和7（2025）年4月18日（金） 第4次図書館基本計画（素案）について

（4）分野別個別計画素案E X P O（市民説明会）

第4次図書館基本計画素案について、市民の皆さんに説明をさせていただき、市民意見公募（パブリックコメント）として、ご意見をいただく機会を創出しました。

日時	令和7（2025）年4月5日
場所	立川市役所
対象者	立川市在住、在勤、在学の方等

（5）市民意見公募（パブリックコメント）

第4次図書館基本計画素案に対して、市民意見公募（パブリックコメント）を実施し、1人から2件のご意見をいただきました。

公募期間	令和7（2025）年4月1日～4月21日
提出者数・件数	1人・2件
意見を反映した件数	0件

（6）検討委員会・作業部会での検討

① 組織体制

〔図書館基本計画策定委員会〕

教育部長・図書館長・学務課長・指導課長・教育委員会統括指導主事

〔図書館基本計画策定委員会作業部会〕

図書館長・図書館管理係長(庶務)・図書館サービス係長・図書館児童青少年サービス係長・
 図書館調査資料係長

② 開催状況

〔図書館基本計画策定委員会作業部会〕

令和6（2024）年5月14日（火） 第1回 図書館基本計画策定委員会作業部会
 審議内容：施策体系・取組項目について
 令和6（2024）年7月12日（金） 第2回 図書館基本計画策定委員会作業部会
 審議内容：施策体系・取組項目・骨子案について
 令和6（2024）年11月26日（火） 第3回 図書館基本計画策定委員会作業部会
 審議内容：取組項目、素案について
 令和6（2024）年12月6日（金） 第4回 図書館基本計画策定委員会作業部会
 審議内容：第4次図書館基本計画（素案）について

〔図書館基本計画策定委員会〕

令和6（2024）年10月3日（木）

第1回図書館基本計画策定委員会

審議内容：第4次図書館基本計画（骨子案）・取組
項目案等について

令和7（2025）年1月9日（木）

第2回図書館基本計画策定委員会

審議内容：第4次図書館基本計画（素案の案）につい
て（書面開催）

(7) 関係要綱

立川市図書館基本計画策定委員会設置要綱

平成21年11月10日教育委員会要綱第29号

改正

平成22年5月6日教育委員会要綱第5号

平成26年10月1日教育委員会要綱第44号

令和2年4月1日教育委員会要綱第45号

令和6年4月1日教育委員会要綱第13号

令和7年4月1日教育委員会要綱第27号

(設置)

第1条 図書館の今後のあり方を検討し、図書館基本計画（以下「計画」という。）を策定するため、立川市図書館基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を処理する。

- (1) 図書館のあり方に関する調査、研究及び審議に関すること。
- (2) 計画の策定に関すること。
- (3) その他必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は、教育委員会事務局教育部長を、副委員長は、図書館長を充てる。

3 委員は、別表第1に定める職員を充てる。

(職務)

第4条 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

3 委員は、委員長の命を受けて委員会の事務に従事する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要があると認めたときに招集する。

(作業部会)

第6条 委員会に付議する事案について必要な事項を調査し、及び研究するため、作業部会を置く。

- 2 作業部会は、部会長及び部会員をもって組織する。
- 3 部会長は、図書館長を、部会員は、別表第2に定める職員を充てる。
- 4 作業部会は、部会長が必要があると認めたときに招集する。

(関係職員の出席)

第7条 委員会は、必要があると認めたときは、関係職員の出席又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会及び作業部会の庶務は、図書館管理係において処理する。

(委任)

第9条 この要綱の施行について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年11月10日から施行する。

附 則（平成22年5月6日教育委員会要綱第5号）

この要綱は、平成22年5月6日から施行する。

附 則（平成26年10月1日教育委員会要綱第44号）

この要綱は、平成26年10月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日教育委員会要綱第45号）

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和6年4月1日教育委員会要綱第13号）

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和7年4月1日教育委員会要綱第27号）

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

別表第1（第3条関係）

教育委員会事務局教育部学務課長、教育委員会事務局教育部指導課長及び教育委員会事務局統括指導主事

別表第2（第6条関係）

図書館管理係長、図書館図書館サービス係長、図書館児童青少年サービス係長及び図書館調査資料係長

立川市第4次図書館基本計画

令和7（2025）年7月発行

発行 立川市教育委員会

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア4階

電話 042-528-6800

FAX 042-528-6806

ホームページ <https://www.library.tachikawa.tokyo.jp/>

編集 教育委員会事務局教育部図書館

